

取扱ガイドについて

■本書の見方

本書では、お車の運転操作や装備の基本的な操作、緊急時に必要な情報や、安全に関する重要な情報を抜粋して説明しています。詳しい取り扱いについては、日産ホームページに掲載されている取扱説明書をお読みください。

取扱説明書（電子）

https://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/index_kicks_epwr.html

スマートフォン、タブレットなどで右側の二次元コードを読み取ると、簡単にアクセスいただけます。



- お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。
- 印刷版の取扱説明書（詳細版）をご希望される方は、日産販売会社にお問い合わせください。
- 本書はお車の中に保管することをおすすめします。

■乗りはじめガイド(動画)のご案内

初めてこのお車にお乗りになる方にも安心してご利用いただけるよう、基本操作の説明動画をご用意しております。

スマートフォン、タブレットなどで右側の二次元コードを読み取ると、簡単にアクセスいただけます。



乗りはじめガイド

P.3

安全にお使いいただくために

P.35

トラブルがおきたときは

P.45

重要事項

P.65

メンテナンス

P.109

MEMO

運転席まわり

インストルメントパネル

運転する前に

インテリジェントキー	P.6
ドアハンドルのスイッチ／バックドアのスイッチ	P.6
ドア（接近時アンロック機能／降車時オートロック機能）	P.6
パワースイッチ	P.7
前席シート	P.7
ハンドルの調節	P.8
ドアミラー	P.8
インテリジェントルームミラー★	P.9

走行中の操作

シフトスイッチ	P.10
ドライブモードセクター	P.10
オートブレーキホールド	P.10
先進事故自動通報システム★	P.11
ドライブレコーダー★	P.11

視界、空調調整

ライトスイッチ	P.12
ワイパー	P.12
エアコンの操作	P.13
ステアリングヒーター★	P.15

走行支援機能

プロパイロットの使いかた	P.17
--------------	------

メーターの見かた

アドバンスドドライブアシストディスプレイ	P.18
メーター警告灯・表示灯・警告メッセージ	P.18

室内装備／その他装備

カップホルダーの使いかた	P.23
USB電源ポート	P.23
ワイヤレス充電器★	P.24
100V AC電源（1500W）★	P.24

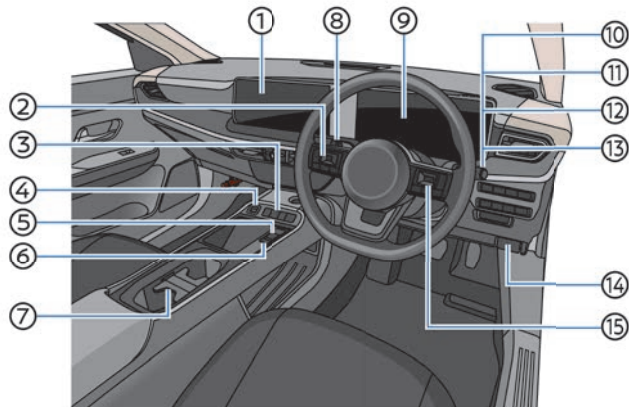
駐車する／給油する

電動パーキングブレーキ	P.26
インテリジェント アラウンドビューモニター （移動物 検知機能付）★	P.26
リモコンオートバックドア★	P.26
給油口	P.27

NissanConnectインフォテインメントシステム★

各部の名称と機能	P.28
機器接続（Bluetooth®対応機器の接続）	P.29
Google アプリおよびサービス★について	P.29
Google アプリおよびサービス★の利用にあたって 必要なこと	P.29
ユーザープロファイル	P.30

運転席まわり

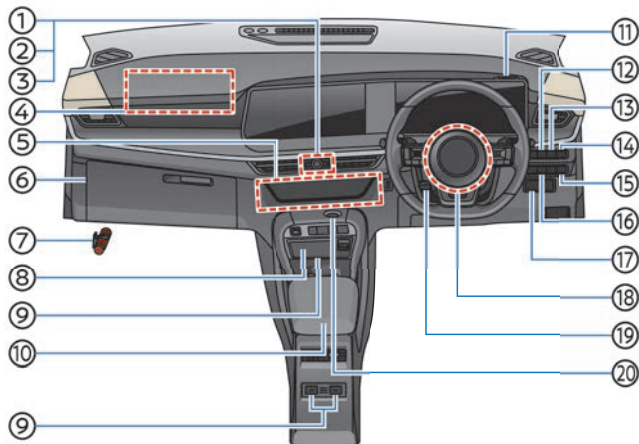


- ⑭ ボンネットオープナー
- ⑮ ステアリングスイッチ (右)
 - プロパイロット (➡ P.17)
 - ハンズフリーフォン★
 - ボイスアシスタント★

※参照ページがない装備については、取扱説明書（電子）をご確認ください。

- ① センターディスプレイ (NissanConnectインフォテインメントシステム) ★ (➡ P.28)
- ② ステアリングスイッチ (左)
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイ (➡ P.18)
 - オーディオ★
- ③ シフトスイッチ (➡ P.10)
- ④ ドライブモードセレクター (➡ P.10)
- ⑤ 電動パーキングブレーキスイッチ (➡ P.26)
- ⑥ オートブレーキホールドスイッチ (➡ P.10)
- ⑦ カップホルダー (➡ P.23)
- ⑧ ワイパー・ウォッシャースイッチ (➡ P.12)
- ⑨ メーター (➡ P.18)
- ⑩ ライトスイッチ (➡ P.12)
- ⑪ 方向指示器スイッチ
- ⑫ フォグランプスイッチ★
- ⑬ リヤフォグランプスイッチ★

インストルメントパネル



- ① CAMERAスイッチ★ (➡P.28)
- ② オーディオスイッチ★ (➡P.28)
- ③ 非常点滅表示灯スイッチ
- ④ 助手席SRSエアバッグ
- ⑤ オートエアコンシステム (➡P.13)
- ⑥ グローブボックス
- ⑦ 発炎筒
- ⑧ ワイヤレス充電器★ (➡P.24)
- ⑨ USB電源ポート (➡P.23)
- ⑩ センターコンソールボックス
- ⑪ ODO/TRIPスイッチ
- ⑫ 100V AC電源 (1500W) メインスイッチ★ (➡P.24)
- ⑬ VDC OFFスイッチ★
- ⑭ ステアリングヒータースイッチ★ (➡P.15)
- ⑮ ヘッドランプレベライザースイッチ★
- ⑯ リモコンオートバックドア運転席スイッチ★ (➡P.26)

- ⑰ ETCユニット★
- ⑱ 運転席SRSエアバッグ
- ⑲ ハンドル位置調節レバー (➡P.8)
- ⑳ パワースイッチ (➡P.7)

※参照ページがない装備については、取扱説明書（電子）をご確認ください。

インテリジェントキー

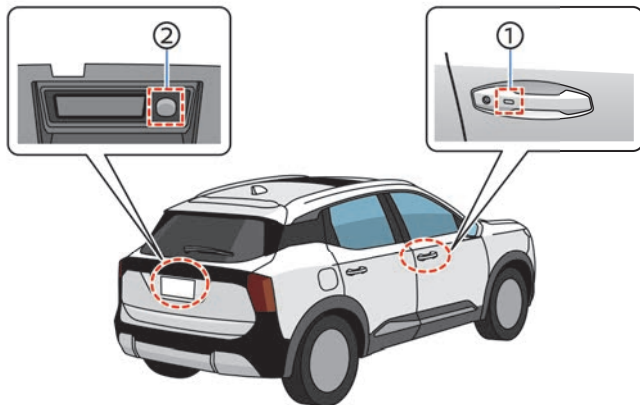


スイッチを押すと、全ドアが施錠します

スイッチを押すと、全ドアが解錠します

インテリジェントキーの形状は車両仕様により異なります。

ドアハンドルのスイッチ／バックドアのスイッチ



- ① ドアハンドルのスイッチ
- ② バックドアのスイッチ

ドア（接近時アンロック機能／降車時オートロック機能）

接近時アンロック機能

インテリジェントキーを携帯して車に近づくと自動で車両が解錠されます。

降車時オートロック機能

＜パワースイッチ＞をOFFにしたあと、ドア開閉をしてからインテリジェントキーを携帯して車から離れると自動で車両が施錠されます。

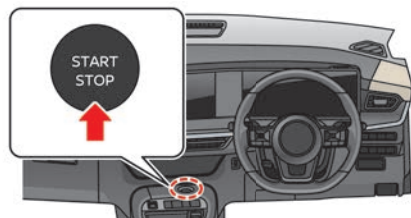
降車時オートロック機能によりドアが施錠されると、アンサーバック機能で非常点滅表示灯が1回点滅します。車両から離れるときは、アンサーバック機能で施錠されていることを確認してください。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで、接近時アンロック機能と降車時オートロック機能のON・OFFを切り替えます。

パワースイッチ

インテリジェントキーを携帯しているときに、次の作動をします。

- ブレーキペダルを踏まずに<パワースイッチ>を押すと、モードが切り替わります。
- ブレーキペダルを踏みながら<パワースイッチ>を押すと、e-POWERシステムが始動します。
- e-POWERシステムが始動中に<パワースイッチ>を押すと、e-POWERシステムが停止します。



前席シート

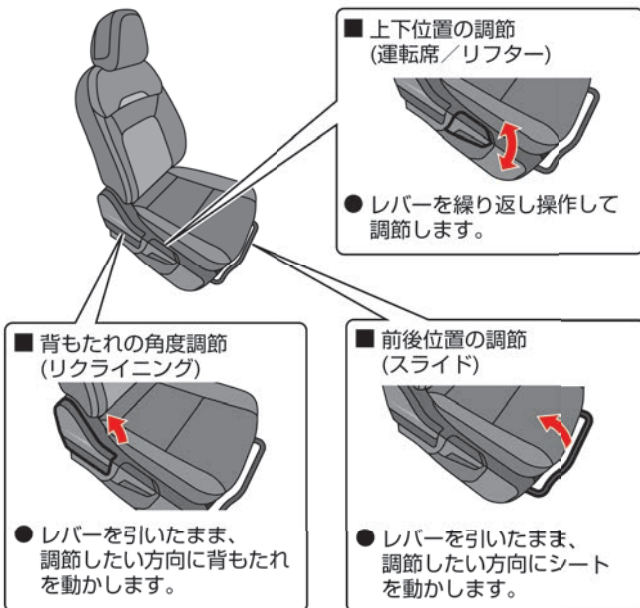
シート調節

パワーシート

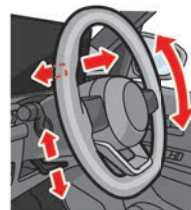


運転する前に

マニュアルシート



ハンドルの調節

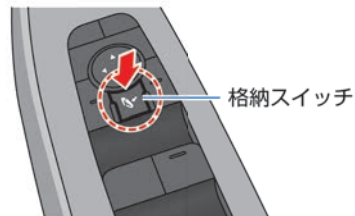


- ハンドル左下のレバーを押下げ、ハンドルを前後・上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。

ドアミラー

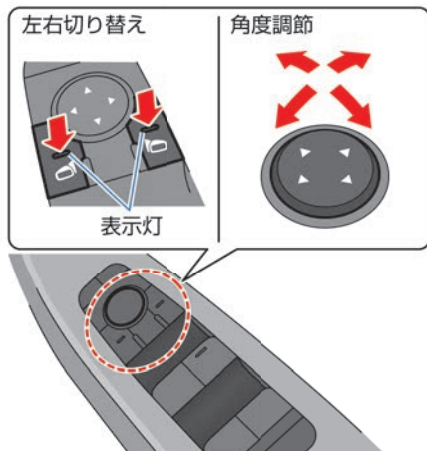
ドアミラーの格納のしかた

- <格納スイッチ>を押すと、左右のミラーが格納されます。
- <格納スイッチ>をもう一度押すと、元の位置に戻ります。



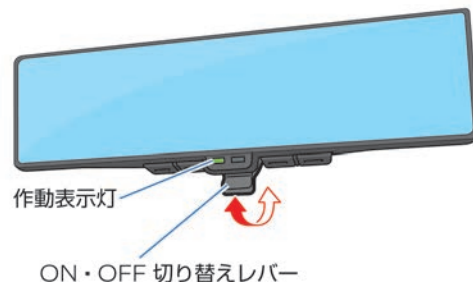
ドアミラーの角度調節のしかた

- 調節したいミラー側の<左右切り替えスイッチ>を押します。
(スイッチの表示灯が点灯)
- <角度調節スイッチ>を前後左右に押して、鏡面角度を調節します。



インテリジェント ルームミラー★

インテリジェント ルームミラーモードに切り替えると、車両後方にあるカメラで映し出された映像（モニター表示）に切り替わります。



走行中の操作

シフトスイッチ

シフトスイッチの使いかた

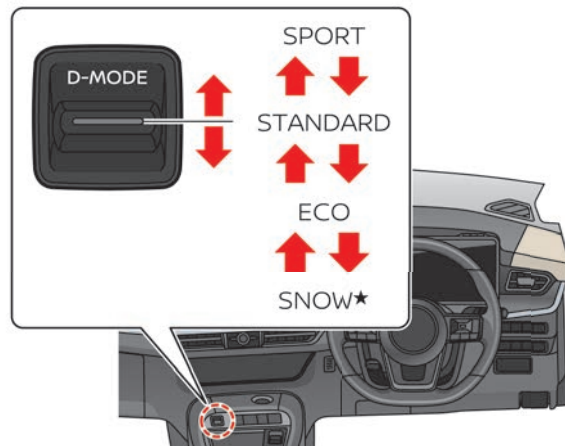


シフトポジション	操作方法	役割
P	ブレーキペダルを踏みながら、<P>スイッチを押します。	駐車およびe-POWERシステムを始動するとき
R	ブレーキペダルを踏みながら、<R>スイッチを押します。	後退するとき
N	ブレーキペダルを踏みながら、<N>スイッチを押します。	動力が伝わらない状態
D	ブレーキペダルを踏みながら、<D/B>スイッチを押します。	通常走行するとき
B	D のときに<D/B>スイッチを押すと B に切り替わります。もう一度<D/B>スイッチを押すと D に戻ります。	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なとき

ドライブモードセレクター

複数のドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

ドライブモードは、STANDARD、SPORT、ECO、SNOW★から選択することができます。

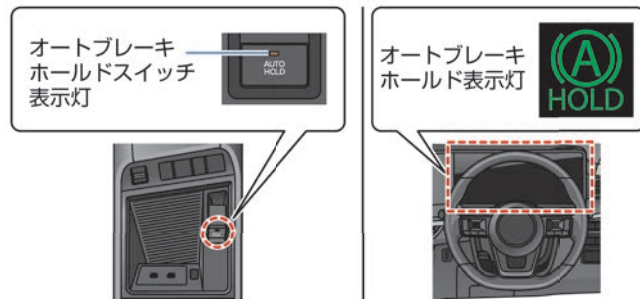


オートブレーキホールド

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどの停車中にブレーキペダルを踏み続けなくても、ブレーキ力を保持する機能です。

オートブレーキホールド機能のON・OFFのしかた

- <パワースイッチ>がONのとき<オートブレーキホールドスイッチ>を操作することによりON・OFFが切り替わります。（ONにすると、スイッチの表示灯が点灯します。）
- 使用できる条件になると、オートブレーキホールド表示灯（白色）が点灯します。
- ブレーキ力が保持されているときは、オートブレーキホールド表示灯（緑色）が点灯します。



先進事故自動通報システム★

<SOSコールスイッチ>を押すことでSOSコールを開始できます。また、エアバッグやプリテンショナーシートベルトが作動するレベルの事故では、自動でSOSコールを開始します。



ドライブレコーダー★

車両前方および後方の映像を動画や写真で保存し、NissanConnectインフォテインメントシステムやスマートフォンで確認することができます。ドライブレコーダーで保存した動画や静止画は、ハンドルの下に挿入されているmicroSDカードに保管されています。

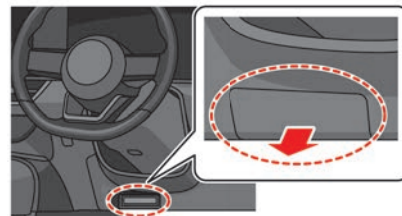
☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備 WEB：取扱説明書（電子）を参照願います

初めてドライブレコーダーをご使用になるときに録画設定がOFFになっていた場合は、ドライブレコーダーの初期化を行ってください。

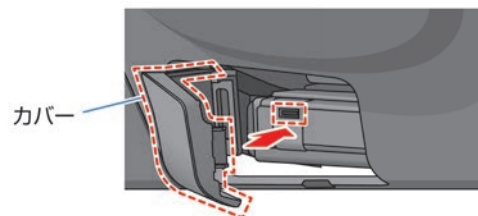
操作方法については、取扱説明書（電子）をご覧ください。

microSDカードの取り出し方

1. microSDカードは、ハンドル下のインストルメントパネルにあります。
ハンドルの下にあるカバーを開きます。



2. microSDカードを押し込むと、取り出せます。



録画および再生中にmicroSDカードを取り出すと、データが破損するおそれがあります。

ライトスイッチ

ランプの点灯・消灯

スイッチを回してマークをスイッチ位置に合わせます。通常時は<AUTO>の位置で使用してください。

ライトの点灯・消灯状態は、ライトスイッチを操作したときにメーターに表示されるガイダンスとメーター内の表示灯で確認してください。



スイッチ位置	点灯するランプ
< 1x >	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
< AUTO >	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯、デイトタイムランニングランプが自動点灯・消灯します。 < AUTO >の位置でヘッドランプが点灯しているときに、ライトスイッチ横のボタンを押すとアダプティブLEDヘッドライトシステム★やハイビームアシスト★のON・OFFをすることができます。

スイッチ位置

点灯するランプ

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき

停車時に< 1x/OFF >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ヘッドランプが自動点灯します。

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき

< 1x/OFF >位置に回して保持すると、ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき

停車して、ヘッドランプ消灯時にシフトポジションがPのときまたはパーキングブレーキが作動しているとき< 1x/OFF >の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯します。

< 1x/OFF >
(< 1x/OFF >の位置にしても手を離すと自動で< AUTO >の位置に戻ります)

ワイパー

フロントワイパー



スイッチ位置	作動
< 1x >	スイッチを上げている間作動 手を離すとOFF
< OFF >	停止
< -- >	間けつ作動 (スイッチを回して作動間隔の長い、短いを調節)
< — >	低速連続作動
< ≡ >	高速連続作動

- スwitchを手前に引くとフロントウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

リヤワイパー



スイッチ位置	作動
< OFF >	停止
< -- >	間けつ作動 (調節機能なし)
< — >	連続作動

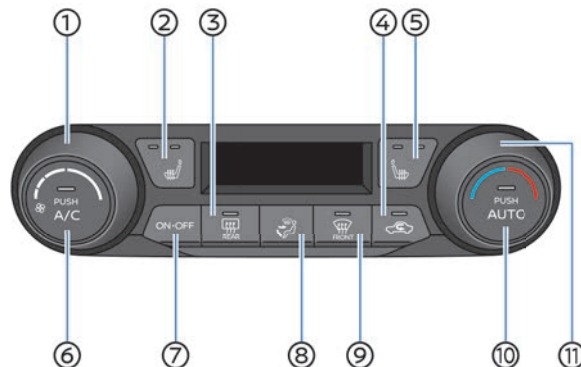
- スwitchを車両前方に押すとリヤウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。
- フロントワイパー作動中にシフトポジションをRに切り替えると、リヤワイパーが作動します。

エアコンの操作

各スイッチの名称と機能

センターディスプレイおよび下部のスイッチでエアコンを操作することができます。

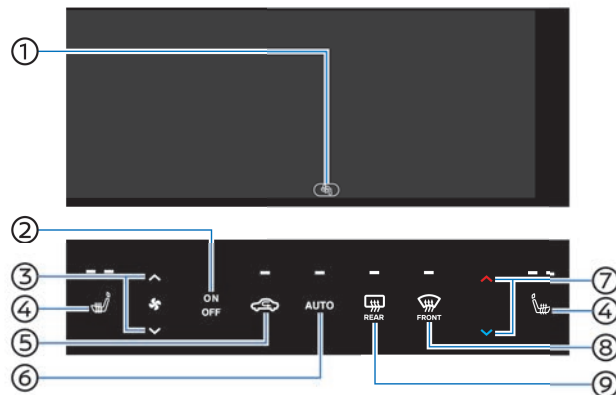
タイプA



- ① 風量調節ダイヤル
ダイヤルを回して風量を切り替えます。
- ② 助手席ヒーターシートスイッチ★
助手席ヒーターシートのON・OFFおよび温度調節をします。
- ③ リヤウインドーデフォグガースwitch
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動して、霜やくもりが取れます。

- ④ 内外気切り替えスイッチ
スイッチを押すごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。
- ⑤ 運転席ヒーターシートスイッチ★
運転席ヒーターシートのON・OFFおよび温度調節をします。
- ⑥ A/Cスイッチ
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。
- ⑦ ON・OFFスイッチ
オートエアコンのON・OFFを切り替えます。
- ⑧ 吹き出し口切り替えスイッチ
吹き出し口を切り替えます。
- ⑨ デフロスタースイッチ
フロントガラスのくもりが取れます。
- ⑩ AUTOスイッチ
自動制御に切り替えます。冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。
- ⑪ 温度調節ダイヤル
ダイヤルを回して設定温度を切り替えます。

タイプB



- ① [⑧] スイッチ
オートエアコンシステム操作画面が表示されます。
- ② ON・OFFスイッチ
オートエアコンシステムのON・OFFを切り替えます。
- ③ 風量調節スイッチ
希望の風量に切り替えます。
- ④ 前席ヒーターシートスイッチ★
前席ヒーターシートのON・OFFおよび調節をします。
- ⑤ 内外気切り替えスイッチ
外気導入／内気循環／自動制御モードが切り替わります。
- ⑥ AUTOスイッチ
オートエアコンに切り替えます。吹き出し温度、吹き出し口、風量、前席ヒーターシート★の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。

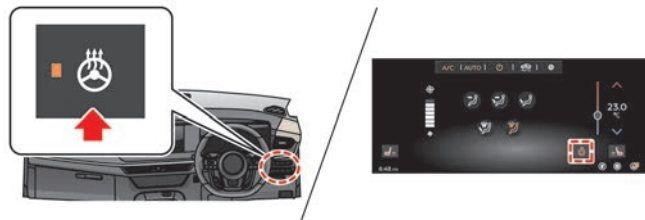
- ⑦ 温度調節スイッチ
希望の設定温度に切り替えます。画面には設定温度が表示されます。
- ⑧ デフロスタースイッチ
フロントガラスのくもりが取れます。
- ⑨ リヤデフォッガースイッチ
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。

ステアリングヒーター★

ハンドルのグリップ部分を温かく保ちます。

ステアリングヒーターの使いかた

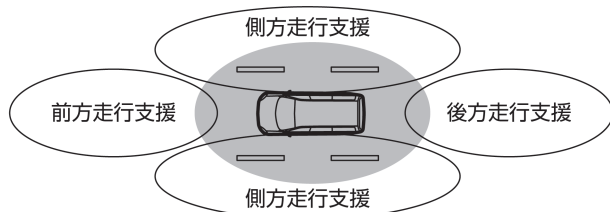
<ステアリングヒータースイッチ>またはセンターディスプレイ★の操作でON・OFFできます。



走行支援機能

⚠ 注意

- 走行支援機能は運転者の安全運転を補助するものであり、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転者はシステムに頼った運転をせず、周囲の状況に注意して常に安全運転を心がけてください。
- ※重要な警告・注意事項がありますので、ご使用前には必ず取扱説明書（電子）をお読みください。



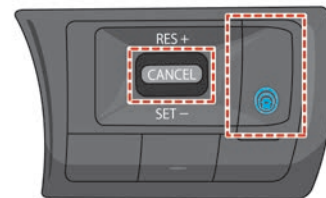
範囲	機能名	機能	支援内容
前方 後方	踏み間違い衝突防止アシスト	ブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違いや、ブレーキ操作遅れが起きたときに警報音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。	支援
前方	インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）	前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合に警報します。	情報 提供 警報
	標識検知機能	運転者に最高速度標識／はみ出し通行禁止標識／車両進入禁止標識／一時停止標識があることを知らせます。	
	先行車発進お知らせ	先行車が発進しても自車が停止し続けた場合に、音と表示でお知らせする機能です。	

範囲	機能名	機能	支援内容
前方 側方	プロパイロット	前方車両との車間距離を制御し、前方車両停車時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにハンドルを制御することで運転操作の負担を減らします。	支援
前方	インテリジェントエマージェンシーブレーキ	前方の車両や歩行者、自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。	支援

範囲	機能名	機能	支援内容
側方	インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）★	隣車線に車両がいる時に車線変更を開始した場合、警報とともに車両を元の車線内に戻すよう支援します。	支援
	インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、車線内に戻す操作を支援します。	
	BSW（後側方車両検知警報）★	車線変更時、隣車線に車両がいる場合に警報します。	警報
	LDW（車線逸脱警報）	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報します。	
	インテリジェント DA（ふらつき警報）	ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、警報音と表示により運転者に休憩を促します。	
後方	RCTA（後退時車両検知警報）★	後退時、後方を横切ろうとする車両があるとき、警報します。	警報

プロパイロットの使いかた

1. <プロパイロットスイッチ>を押します。
 - プロパイロットがONになります。
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。
2. 設定したい速度まで加速または減速し、<CANCEL>スイッチを<SET->側に押します。

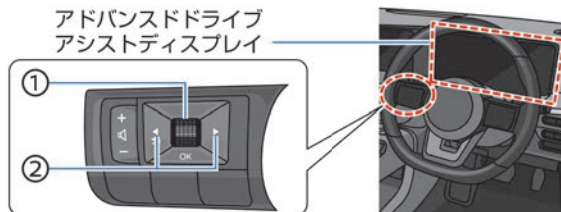


メーターの見かた

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

ディスプレイの切り替えかた（メインメニュー）

＜ステアリングスイッチ＞でメーター内の画面表示が切り替わります。



- ①を回す、または押すと項目を表示します。
- ②を押すと、メーター内の表示項目が切り替わります。

メーター警告灯・表示灯・警告メッセージ

警告灯・表示灯

警告灯が点灯または点滅し続けたときは、取扱説明書（電子）の「警告灯がついたときは」を確認のうえ、「説明・対処方法」に従ってください。あわせて、日産販売会社にご相談ください。次の表示は代表例です。

	12V系充電警告灯 ● e-POWERシステムが作動しているとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると点灯します。
	SRSエアバッグ警告灯 ● ＜パワースイッチ＞がONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると点灯します。

	ブレーキ警告灯 ● ＜パワースイッチ＞がONのとき、次の場合は点灯し続けます。 - ー ブレーキ液が不足しているとき - ー ブレーキシステムに異常があるとき
	電動パーキングブレーキ警告灯 ● 電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。 ● ＜パワースイッチ＞がONのとき、電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。
	電制シフト警告灯 ● ＜パワースイッチ＞がONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。
	油圧警告灯 ● e-POWERシステムが作動しているとき、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。
	シートベルト警告灯 ● ＜パワースイッチ＞がONのとき、シートベルトが装着されていないと点灯します。
	手放し警告灯 ● プロパイロットで車線維持機能（ハンドル支援）を行っているとき、ハンドルを持っていない、またはハンドル操作が検出されないと点灯します。 ● 手放し警告灯が点灯しているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告灯が点滅し、車線維持機能（ハンドル支援）は解除されます。 ● プロパイロットのシステムに異常があると点灯します。

	マスターウォーニング ● メーターに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯 ● e-POWERシステムが作動しているとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。
	VDC OFF表示灯 ● <パワースイッチ>がONのとき、VDCをOFFにしていると点灯します。
	VDC警告灯 ● <パワースイッチ>がONのとき、VDCが作動すると点滅します。 ● <パワースイッチ>がONのとき、VDCシステムに異常があると点灯します。
	e-POWERシステム警告灯 ● <パワースイッチ>がONのとき、モーターや高電圧システムなどに異常が発生すると点灯します。
	ABS警告灯 ● <パワースイッチ>がONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。
	ブレーキシステム警告灯（黄色） ● <パワースイッチ>がONのとき、次の機能に異常があると点灯します。 — 電動パーキングブレーキ — ブレーキシステム — 回生ブレーキ
	リヤフォグランプ表示灯★ ● リヤフォグランプを点灯させると点灯します。

	踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 ● 踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしていると点灯します。
	ソナー検知表示灯★ ● ソナーにより障害物を検知したときに点滅します。
	インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 ● インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにしていると点灯します。
	故障警告灯（MIL） ● e-POWERシステムが作動しているとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。
	燃料残量警告灯 ● <パワースイッチ>がONのとき、燃料の残量が少ないと黄色に点灯します。
	出力制限表示灯 ● <パワースイッチ>がONのとき、リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下していると点灯します。 ● 上り坂の連続走行などで、走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に高くなると点灯します。
	車両接近通報システム警告灯 ● 車両接近通報装置に異常があると点灯します。
	方向指示表示灯 ● 非常点滅表示灯を作動させると左右同時に点滅します。 ● <パワースイッチ>がONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。

メーターの見かた

	アダプティブ LED ヘッドライト表示灯★ ● アダプティブLEDヘッドライトシステムをONにすると点灯します。 ハイビームアシスト表示灯★ ● ハイビームアシストをONにすると点灯します。
	ヘッドランプ下向き表示灯 ● ヘッドランプのロービーム（下向き）を点灯させると点灯します。
	テールランプ表示灯 ● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。
	フォグランプ表示灯★ ● フォグランプを点灯させると点灯します。
	オートブレーキホールド表示灯（緑色） ● オートブレーキホールドが作動しているとき緑色に点灯します。
	走行可能表示灯 ● 走行できる状態になると点灯します。（走行中も点灯し続けます。） ● e-POWERシステム始動時、走行可能な状態になるまで点滅します。
	ヘッドランプ上向き表示灯 ● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。
	低水温表示灯 ● エンジン冷却水の温度が低いと点灯します。
	オートブレーキホールド表示灯（白色） ● オートブレーキホールドが待機状態のとき白色に点灯します。

警告メッセージが表示されたとき

メーター内のディスプレイに警告メッセージが表示されたときは、取扱説明書（電子）の「警告メッセージが表示されたときは」を確認のうえ、「説明・対処方法」に従ってください。あわせて、日産販売会社にご相談ください。

次の表示は代表例です。

画面表示	名称	表示する条件
キーシステム故障 取扱説明書を見てください	キーシステム警告	● キーシステムに異常があると表示します。
オーバーヒート 安全な場所に車を止め 取扱説明書を見てください	オーバーヒート警告	● エンジン冷却水の温度が異常に高くなると表示します。
シャシー制御 システム故障 取扱説明書を見てください	シャシー制御表示	● シャシー制御のシステムに異常があると表示します。
4WDシステム異常 取扱説明書を見てください	4WD警告	● 走行可能表示灯 [READY] が点灯しているとき、4WDシステムに異常があると表示します。
ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	● LEDヘッドランプに異常があると表示します。
システム故障 取扱説明書を見てください	システム故障警告	● プロパイロット、踏み間違い衝突防止アシスト、BSW（後側方車両検知警報）★、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）★、LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、RCTA（後退時車両検知警報）★、インテリジェント DA（ぶらつき警報）、標識検知機能、駐車支援機能（フロントソナー、コーナーソナー、リヤソナー）が故障すると表示します。
ぶらつき警報システム故障 取扱説明書を見てください	インテリジェント DA（ぶらつき警報）システム異常警告	● インテリジェント DA（ぶらつき警報）に異常があると表示します。
ソナー故障 取扱説明書を見てください	ソナーシステム異常警告	● ソナーが故障したときに表示します。

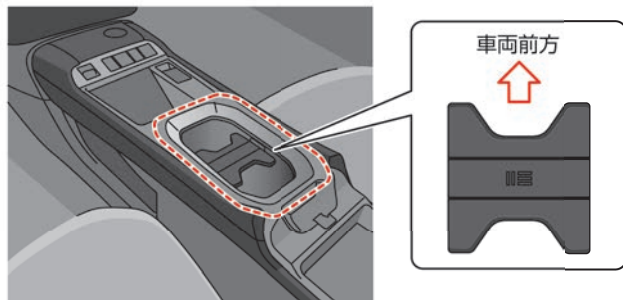
メーターの見かた

画面表示	名称	表示する条件
システム保護のため 一時的に出力制限中 安全な場所に車を停め 取扱説明書を見てください	出力制限警告	● 出力制限表示灯 [] が点灯すると同時に表示します。

カップホルダーの使いかた

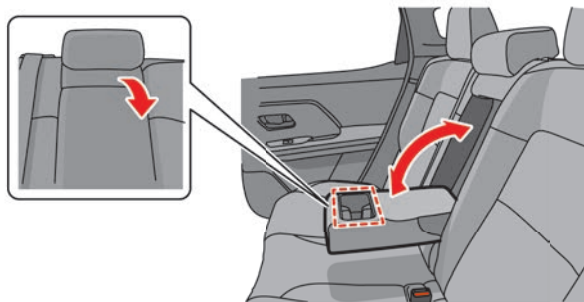
前席用カップホルダーについて

- 前席用カップホルダーは、センターコンソールにあります。
- フラップを取り外してスペースを大きくすることができます。フラップを取り外す場合は、開いた状態で取り外してください。
- フラップを戻す場合は、取り外した向きで戻してください。



後席用カップホルダーについて

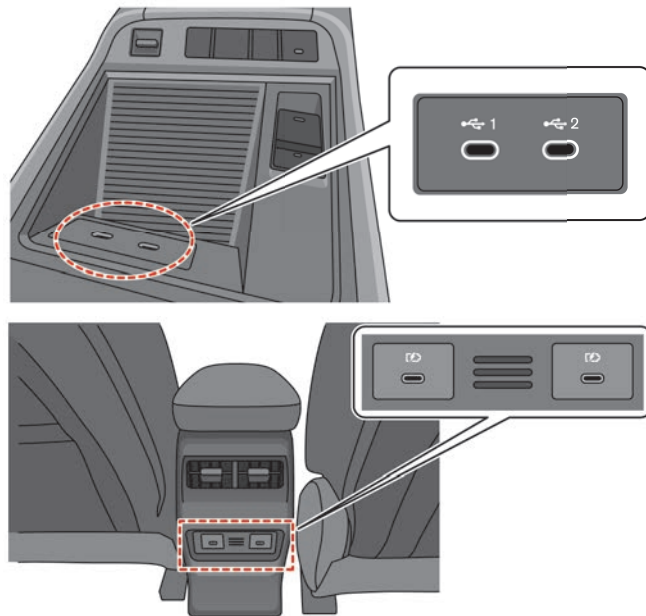
- 後席用カップホルダーは、アームレストを前に倒して使います。



USB電源ポート

USB電源ポートでモバイル機器などを充電できます。

NissanConnectインフォテインメントシステム装着車は、センターコンソール前方のUSB電源ポートで通信も可能です。

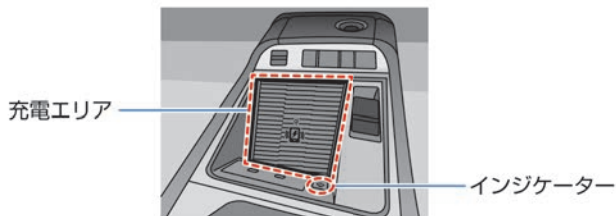


ワイヤレス充電器★

ワイヤレス充電器は Qi 対応スマートフォンの充電専用です。

ワイヤレス充電器の使いかた

- ワイヤレス充電器はセンターコンソールにあります。
- スマートフォンを充電エリア内に置くと充電が始まります。（インジケーターがオレンジ色に点灯）
- スマートフォンを置くときは、スマートフォンの受電部分が Qi ロゴの上にくるように置いてください。



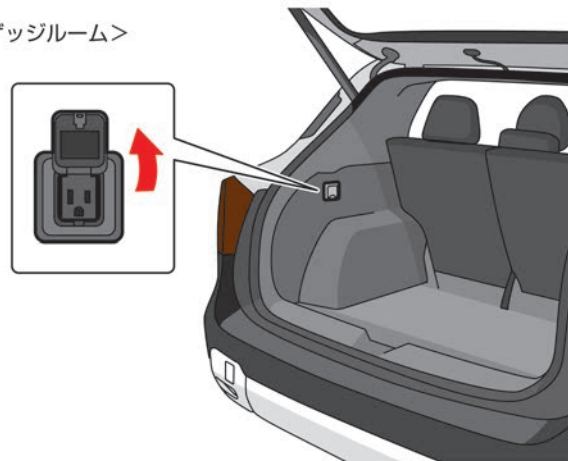
100V AC電源（1500W）★

電気製品の電源をとるときに使います。

100V AC電源（1500W）について

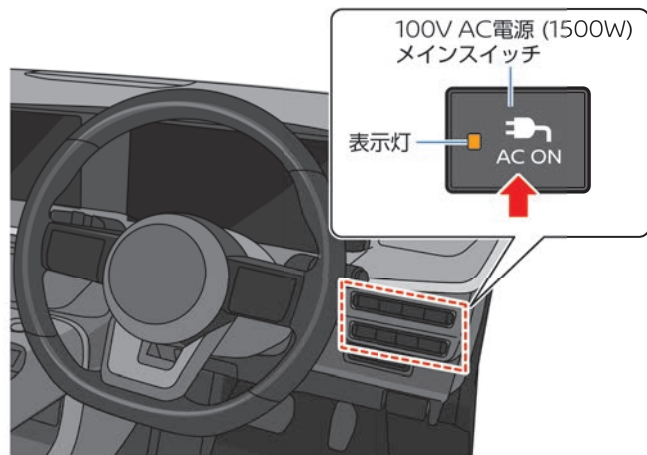
- 電源周波数は50Hzに設定されています。周波数を切り替えた場合は、日産販売会社にお問い合わせください。

<ラゲッジルーム>



100V AC電源 (1500W) の使いかた

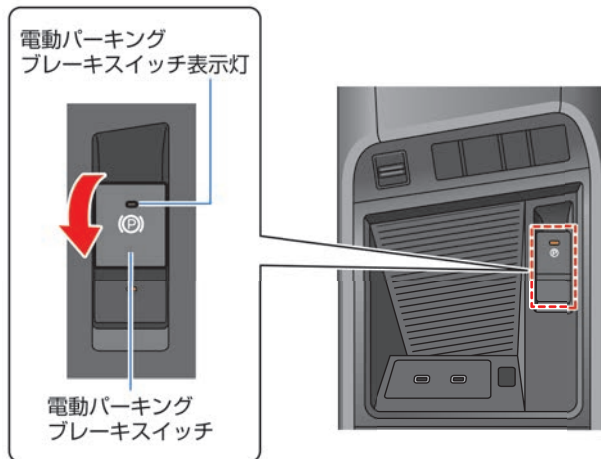
- 走行可能表示灯 [READY] が点灯しているときに<100V AC電源 (1500W) メインスイッチ>を押すと、100V AC電源 (1500W) を使用できます。(スイッチの表示灯が点灯)



電動パーキングブレーキ

スイッチ操作で、パーキングブレーキをかけることができます。

電動パーキングブレーキの使いかた



- ブレーキペダルをしっかり踏んでスイッチを操作します。
- 作動させるとき：スイッチを引きます。
電動パーキングブレーキスイッチ表示灯：点灯
電動パーキングブレーキ警告灯：一定時間後に点灯
- 解除するとき：スイッチを押します。
電動パーキングブレーキスイッチ表示灯：消灯
電動パーキングブレーキ警告灯：消灯

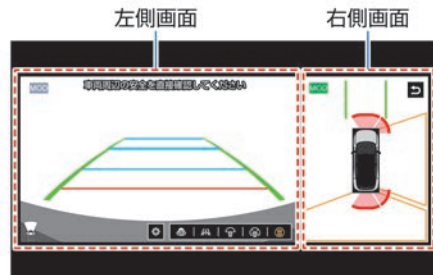
自動解除のしかた

電動パーキングブレーキがかかっている状態でシフトポジションを**D**、**B**または**R**にし、アクセルペダルをゆっくり踏み込みます。

パーキングブレーキが解除され、電動パーキングブレーキ警告灯が消灯します。

インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付）★

インテリジェントアラウンドビューモニターは、自車位置周辺の状況を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。



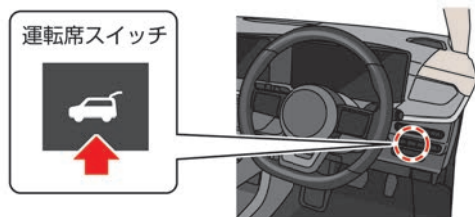
※ 本表示はNissanConnectインフォテインメントシステム装着車の表示になります。グレード、オプションなどにより表示は異なります。

リモコンオートバックドア★

リモコンオートバックドアは、バックドアを自動（電動）開閉することができます。

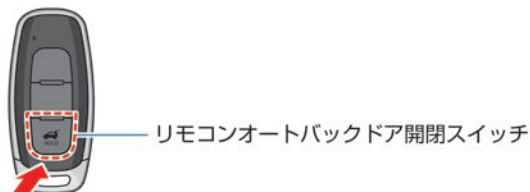
リモコンオートバックドア運転席スイッチ

<運転席スイッチ>を長押しすると、バックドアを自動（電動）で開閉することができます。



リモコンオートバックドア開閉スイッチ（自動開閉）

ドアを解錠してからリモコンスイッチのボタンを長押しすると、バックドアを自動（電動）で開閉することができます。



インテリジェントキーの形状は車両仕様により異なります。

バックドアオープナースイッチ（自動開）

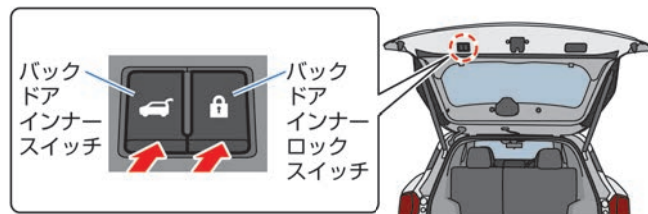
インテリジェントキーを携帯してスイッチを押すと自動（電動）でバックドアが開きます。



バックドアインナースイッチ、バックドアインナーロックスイッチ

＜バックドアインナースイッチ＞を押すと自動（電動）でバックドアが閉まります。

＜バックドアインナーロックスイッチ＞を押すと、全ドアが施錠されバックドアが全閉します。全閉したあとブザーが1回鳴り、非常点滅表示灯が1回点滅します。



給油口

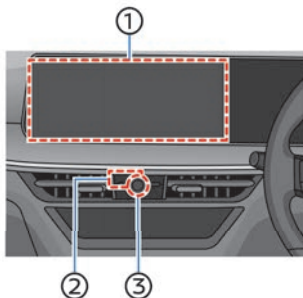
ドア解錠時にリッドの車両後方側中央部あたり（イラストの点線部分）を押すとリッドが少し開きます。

給油口にキャップはありません。給油ノズルを直接差し込むだけで給油することができます。



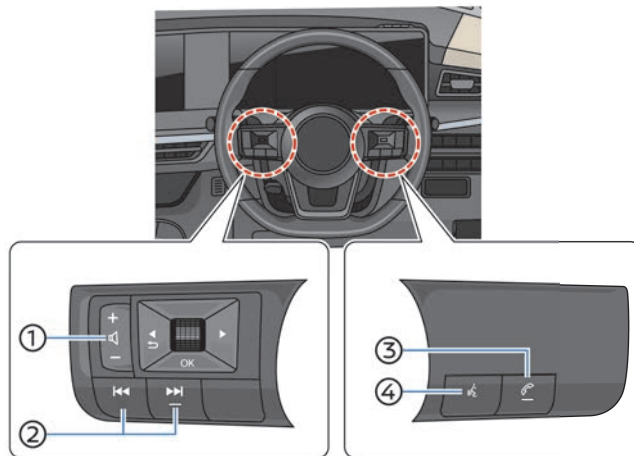
各部の名称と機能

タッチパネル周辺の名称と機能



- ① タッチパネル
画面タッチでさまざまな機能の操作や設定をします。
- ② <CAMERA>スイッチ
カメラの画面を表示します。
- ③ < /VOL>ダイヤル
押すごとにオーディオをON/OFF します。回すと音量を調節します。
オーディオがOFF のときに回すとON になります。

ステアリングスイッチの名称と機能



- ① < >スイッチ
音量を調節します。
- ② < > / < >スイッチ
放送局の選局や音楽の選曲ができます。
- ③ < >スイッチ
着信時に応答したり通話を終了したりします。
- ④ < >スイッチ
Google アシスタント★を起動します。
Apple CarPlay またはAndroid Auto™ 操作時に長押しすると音声で操作ができます。

NissanConnectインフォテインメントシステム★

機器接続（Bluetooth®対応機器の接続）

Bluetooth®対応機器の初期登録



Bluetooth®対応の携帯電話を使ってハンズフリーフォンとして使用したり、Bluetooth®対応のオーディオ機器を使ってBluetooth®オーディオとして使用したりすることができます。

ランチャーメニューの[] → [] → [機器接続] → [登録機器] → [登録] をタッチし、Bluetooth®対応機器のBluetooth®設定でデバイス検索し、[MY_CAR] を選択することで、Bluetooth®対応機器を登録します。

Bluetooth®対応機器の機種によって、パスキー入力が必要です。
※Bluetooth®対応機器の操作手順は、各社取扱説明書をご覧ください。

Google アプリおよびサービス★について

Google 搭載のNissanConnectインフォテインメントシステムでは、Google アプリおよびサービスをご利用いただけます。一部の機能については、インターネット接続やGoogle アカウントへのログインが必要です。

アプリ	機能
Google マップ	運転ルートの案内や近くの施設の検索などのナビゲーション機能が使え、最新の道路状況や地図が表示されます。

アプリ	機能
Google アシスタント	「OK Google」と話しかけるだけで、音楽再生、目的地設定、電話発信など、さまざまな機能を音声で操作できます。
Google Play	さまざまなアプリをダウンロードして使用することができ、音楽アプリなどのコンテンツを車内で楽しみいただけます。

※Google 搭載の各機能名称および内容は予告なく変更となる場合があります。

Google アプリおよびサービス★の利用にあたって必要なこと

Google アプリおよびサービスのご利用には、Google アカウントとインターネット接続が必要です。

Google アカウント

Google アカウントの作成は、次のWEBサイトを参照してください。

<https://www.google.com/intl/ja/account/about/>



Google、Android、Google Play、Google マップはGoogle LLCの商標です。

インターネット接続

インターネット接続に関しては次の方法がございます。

1. お手持ちの携帯電話等のWi-Fi通信機器でインターネット接続する



ランチャーメニューの [設定] → [機器接続] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi] をタッチしてON にし、Wi-Fiネットワークを選択します。パスワードを入力することで、Wi-Fi機器を登録します。

※Wi-Fi機器の操作手順は各社取扱説明書をご覧ください。

2. **NissanConnect サービスに加入しインターネット接続する**

NissanConnect サービスにご加入いただければ、外部のWi-Fi機器でインターネット接続せずにGoogle アプリおよびサービスのご利用やGoogle Play でのアプリのダウンロードが可能です。*

【NissanConnect サービスとは】

車両搭載の通信機を利用して、快適で安心、便利な様々なサービスを提供しています。

例えば、遠く離れている場所からスマホのアプリでエアコンを作動させることができたり、車の鍵の開め忘れがチェックでき、開いていたらリモート操作でロックができたりします。

詳細については、次のWEBサイトを参照してください。

<https://www3.nissan.co.jp/connect.html>



*：Google Playでアプリをダウンロードするには、Google アカウントにログインする必要があります。Google Play でダウンロードしたアプリのご利用には、NissanConnect サービス + docomo in Car Connect®へのご加入（有料）またはスマートフォンやポケットWi-Fiなどのテザリングによるデータ通信環境が必要となります。

Google アプリおよびサービスに関するお問い合わせ

Google アプリおよびサービスに関するお問い合わせは、次のWEBサイトを参照してください。

<<https://support.google.com/built-in/#topic=9858252>>



ユーザープロフィール

ユーザープロフィールとは、車両設定やオーディオ設定などの登録情報をユーザーごとに記憶する機能です。

快適にお使いいただくため、必ずユーザープロフィール設定を行ってください。

NissanConnectインフォテインメントシステム★

- 登録情報は、＜パワースイッチ＞OFF時に記憶され、次に＜パワースイッチ＞をONにしたときに、使用したインテリジェントキーでユーザーを認識して呼び出すことができます。
 - 1台の車両に複数のユーザーを設定することができます。
 - ユーザープロフィール設定を行わないインテリジェントキーを使用すると、「ゲスト」として認識され、登録情報は記憶されず乗車のたびに設定が必要になるため、必ずユーザープロフィール設定を行ってください。
- ※ユーザープロフィールの登録情報は、車両仕様によって異なります。

ユーザープロフィールの初期設定

- 初期設定を行う場合、車両を安全な場所に駐車してください。
- ユーザーが「ゲスト」では、ユーザープロフィールを新規に設定できません。「ドライバー」などの登録済みユーザーに切り替えてから設定してください。
- 初期設定は予告なく変更される場合があります。

NissanConnectインフォテインメントシステム初期設定

https://www3.nissan.co.jp/connect/offer/setting_ccs2_navi.html



1. ＜パワースイッチ＞をONにする。
2. ランチャーメニューの [設定] をタッチする。
3. 画面をスワイプして [ユーザー切替] をタッチする。
4. ユーザー画面上部の [設定] をタッチする。
5. プロフィールをタッチする。

6. ユーザープロフィール画面の [プロファイル設定] をタッチする。
 7. 言語を選択し、[開始] をタッチする。
 8. Wi-Fiに接続するため、ネットワーク名を選び、パスワードを入力した後、[接続] をタッチする。
ただし、NissanConnect サービスにご加入いただいている場合、表示されません。
 9. プロフィール名を入力し、[次へ] をタッチする。
 10. プロフィールをカスタマイズする画面上で、各項目を設定する。
 11. [設定完了] をタッチする。
- Wi-Fi設定を含めプロフィールカスタマイズ項目はスキップできます。あとから設定する手順は、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書の「ご使用前の確認と設定」をご確認ください。

プロフィールのカスタマイズ項目

カスタマイズ項目	操作手順
NissanConnect サービス	メールアドレス (NISSAN ID) とパスワードを入力しログインする。
アシスタントとアプリの設定	● Google アカウントと連携させるため、画面表示の二次元コードを携帯電話のカメラで読み取り、携帯電話の表示に従い、Google にログインしてください。 ● あるいは、画面の [別の方法] をタッチし、Google アカウントのIDとパスワードを入力しログインしてください。

NissanConnectインフォテインメントシステム★

カスタマイズ項目	操作手順
スマートフォンをBluetooth®で接続	● Bluetooth®接続をオンにした機器のデバイス名を選択してください。 ● [ペア設定する] をタッチすると、Bluetooth®機器にもBluetooth®ペア設定コードが表示されるため、同じであることを確認し、ペアリングを許可し接続する。
プロファイルのロック	パターンコード、PINコード、パスワード、プロファイルロックを使用しないの4種類の設定ができます。画面の指示に従い設定します。

NissanConnectインフォテインメントシステム [シンプル] 初期設定

https://www3.nissan.co.jp/connect/offer/setting_ccs2_da.html



1. <パワースイッチ>をONにする。
2. ランチャーメニューの [🔗] をタッチする。
3. 画面をスワイプして [ユーザー切替] をタッチする。
4. ユーザー画面上部の [⚙️] をタッチする。
5. プロファイルをタッチする。
6. 画面に表示される各項目を設定する。

● NissanConnect サービスにご加入いただいている場合、自動的にインターネットに接続されています。

- 各項目の設定は任意です。あとから設定する手順はNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書の「ご使用前の確認と設定」をご確認ください。

ユーザーの確認・切り替え

1本のインテリジェントキーに複数のユーザーを連携させることができます。

どのユーザーが呼び出されているかは次の画面で確認できます。

■ オープニング画面



■ メニュー画面



■ ユーザー切替画面



- 呼び出されたユーザー名が違っている場合は [ユーザー切替] をタッチしてユーザーを切り替えてください。
- ユーザーを追加する場合はユーザー切替画面の [+] をタッチしてください。

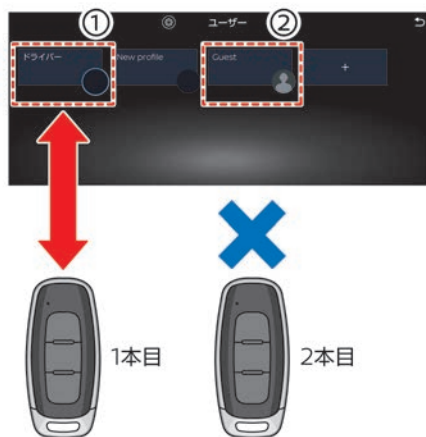
NissanConnectインフォテインメントシステム★

- どのユーザーがどのインテリジェントキーと連携しているかは、ユーザープロフィール画面で確認できます。
- 2本以上のインテリジェントキーを束ねて携帯してお車へ乗り込むと、ユーザープロフィール機能が正しく動作しない場合があります。



インテリジェントキーが2本装備されているお車について

- 工場出荷時は、1本目のインテリジェントキーにはユーザープロフィール（ユーザー名「ドライバー」①）が設定されており、2本目のインテリジェントキーにはユーザープロフィールが設定されていない（「ゲスト」②として扱われる）場合があります。この場合、2本目のインテリジェントキーを利用するときにユーザープロフィールを設定してください。



MEMO



安全に車を使用するための注意事項

正しい運転姿勢に調節する	P.36
正しいシートベルトの着用	P.36
SRSエアバッグの効果を最大限発揮する	P.37
お子さまを乗せるときは	P.38
電波が心臓ペースメーカー等に及ぼす影響	P.38
車両に積んではいけないもの、積むときの注意	P.39
不正改造の影響、電装品装着の注意	P.39
フロアカーペットの正しい装着	P.40

運転時の注意事項

天候（雨、雪）や路面状況に応じた運転	P.41
緊急時の車両停止方法	P.42
運転支援機能の使用上の注意	P.42

安全に車を使用するための注意事項

正しい運転姿勢に調節する



走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

正しいシートベルトの着用

走行前に必ず次のことを守り、シートベルトを正しく着用してください。



妊娠中のシートベルトの着用に関する注意

- 妊娠中や疾患のある方も医師に注意事項を確認の上、万一のときのためにシートベルトを着用してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

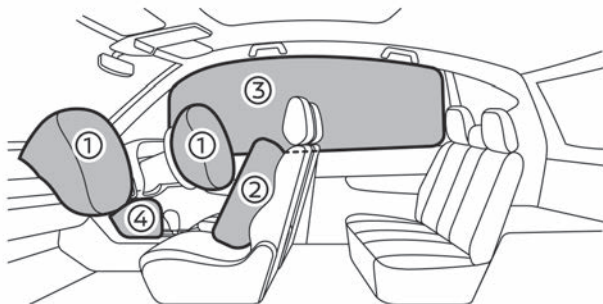
安全に車を使用するための注意事項

SRSエアバッグの効果を最大限発揮する

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

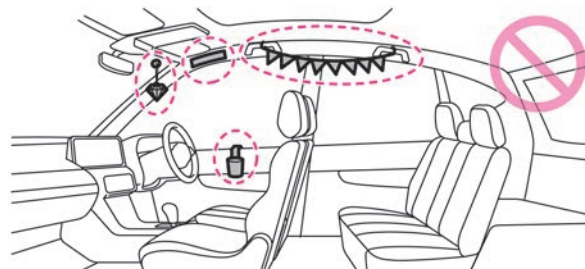
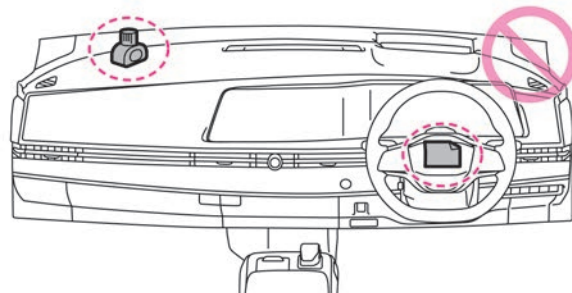
SRSエアバッグの種類

- ① SRSエアバッグ（前席）
- ② SRSサイドエアバッグ（前席）
- ③ SRSカーテンエアバッグ
- ④ SRSニーエアバッグ（運転席）



※エアバッグの適用は車種、仕様により異なります。

SRSエアバッグの注意事項



次のSRSエアバッグ格納部付近に何かを付けたり、置いたり、かけたりしないでください。SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- ハンドルのパッド部
- 助手席ダッシュボード上部
- フロントガラス
- ドアガラス
- ドア
- フロントピラーおよびリヤピラー
- ルーフサイドレール
- アシストグリップ

安全に車を使用するための注意事項

お子さまを乗せるときは

お子さまを乗せるときは次のことを必ずお守りください。思わぬ事故や重大な傷害を受けるおそれがあります。



- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用してください。
- チャイルドシートは後席シートに取り付けることを推奨します。
- お子様が操作できないように、チャイルドセーフティドアロックやパワーウインドーロックスイッチを使用してください。
- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあります。

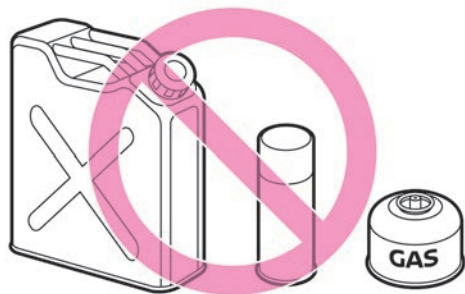
電波が心臓ペースメーカー等に及ぼす影響

インテリジェントキーについて

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけないでください。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアにあるスイッチ操作時、電気自動車やe-POWERシステム、またはエンジン始動時などに発生するキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用してください。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- アンテナの位置は取扱説明書（電子）をご確認ください。

安全に車を使用するための注意事項

車両に積んではいけないもの、積むときの注意



燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。また、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。

荷物を積みすぎない

- 助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

不正改造の影響、電装品装着の注意

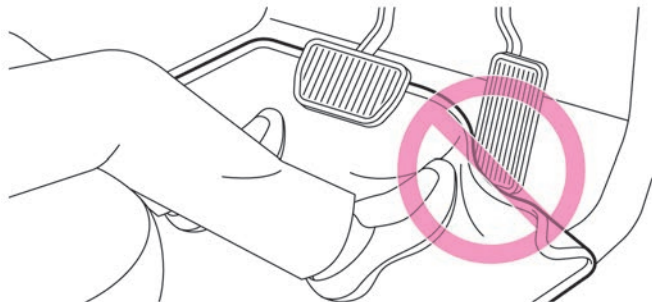


日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しないでください

- 正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

安全に車を使用するための注意事項

フロアカーペットの正しい装着



運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守ってください

- 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しないでください。
- フロアマットをすべての固定フック（クリップ）で、正しい位置にしっかりと固定してください。
- 運転する前、電源ポジションがOFFの状態でごペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

運転時の注意事項

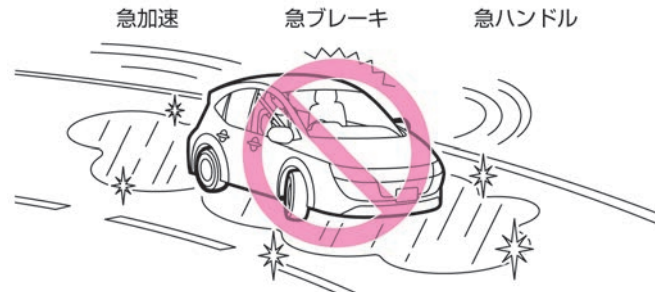
天候（雨、雪）や路面状況に応じた運転

雨天時の走行



- 路面がぬれると滑りやすくなります。通常より注意して安全運転を心がけてください。
- わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
- 冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両事故につながるおそれがあります。

雪道の走行



滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効が悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、低速走行でブレーキを軽く踏み、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

運転時の注意事項

緊急時の車両停止方法

緊急の場合以外は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止すると、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。

非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。

非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

ガソリンエンジン車

緊急時など、走行中に強制的にエンジンを停止させるときは、次の操作を行ってください。

- <エンジンスイッチ>を2秒以上押し続ける。

e-Power車、EV車

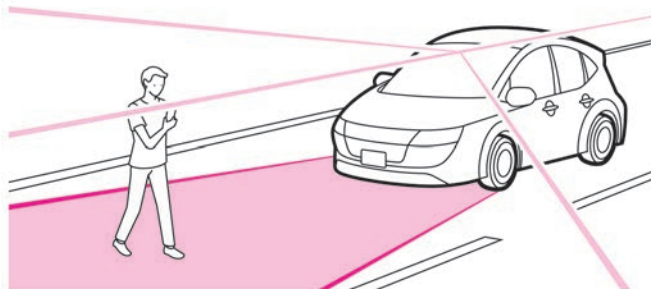
緊急時など、走行中に強制的にEVシステム、またはe-Powerシステムを停止（<パワースイッチ>OFF）させるときは、次の操作を行ってください。

- <パワースイッチ>を2秒以上押し続ける。

運転支援機能の使用上の注意

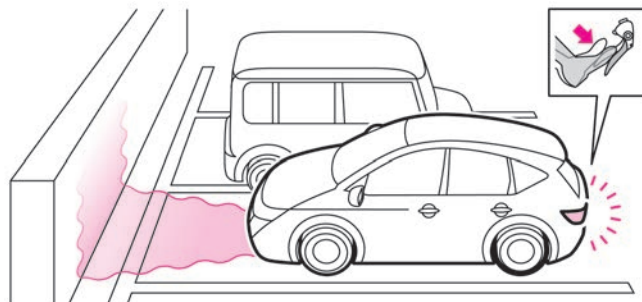
運転支援機能は、自動で運転する装置ではありません。運転者は交通法規を遵守し、常に周囲に注意し、道路・交通・自車の状況に応じハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダルを確実に操作し、安全な運転を行う責任があります。性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキについて



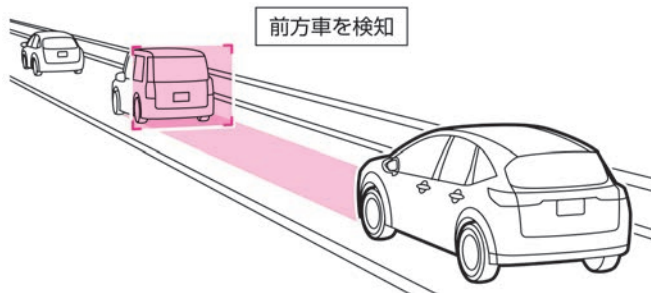
- インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持してください。
- 次のような障害物は検知しません。
 - 子供などの背の低い人、動物
 - 対向車両
 - 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者、人が乗車している自転車以外の障害物）
- システムは車両の後端を認識するため、次の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - 前方を横切って通過する車両
 - 斜めもしくは前向きに止まっている車両

踏み間違い衝突防止アシスト機能について



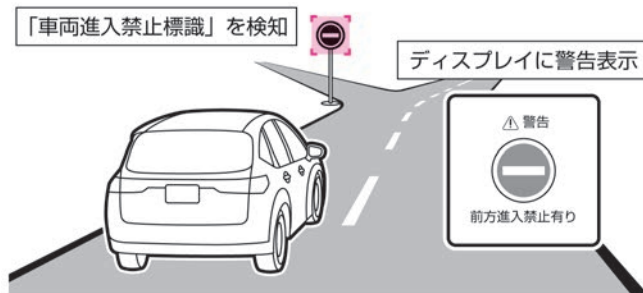
- 踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

プロパイロットについて



- プロパイロットは自動で運転する装置ではありません。また、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。
 - プロパイロットは高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。
 - プロパイロットは同一方向に走行する車両を検出し、車間距離を保つようアクセル、ブレーキを制御します。
 - プロパイロットは車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方から車両が近づいてきても反応しません。
 - プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
 - プロパイロットを解除せずに降車しないでください。
- ※プロパイロットの適用は車種、仕様により異なります。

標識検知機能について



- 走行中は必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- 標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

まずはじめに

故障したときは	P.46
発炎筒	P.47
けん引について	P.47

緊急時の対処法

パンクしたときは	P.51
ドアが開かないときは	P.55
e-POWERシステムを始動できないときは	P.55
12Vバッテリーがあがったときは	P.56
出力制限表示灯が点灯したときは	P.58
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.60
窓ガラスがくもったときは	P.61
オーバーヒートしたときは	P.61
雪道やぬかるみにはまったときは	P.62
水没したときは	P.63
外装ランプが点灯しないときは	P.64
ヒューズが切れたときは	P.64

まずはじめに

故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

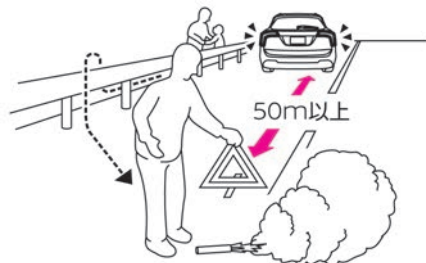
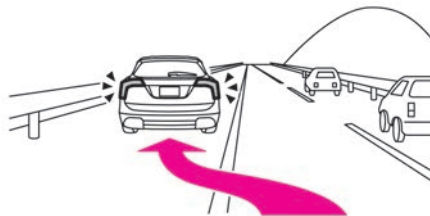
⚠ 警告

- 発炎筒はトンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。非常点滅表示灯を使ってください。

⚠ 注意

- 走行中に走行可能表示灯【READY】が消灯したときは、慎重に運転する。
故障により走行可能表示灯【READY】が消灯すると、ブレーキやパワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりすることがあります。すみやかに安全な場所に停車してください。

1. 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
路肩がない場所では、可能な限り広いところまで自走します。

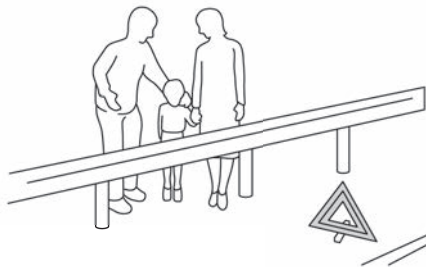


2. 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。



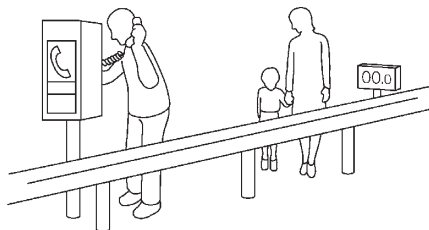
避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないよう注意してください。

3. 運転者もガードレールの外側などに避難します。



4. 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。

まずはじめに



アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務付けられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

警告

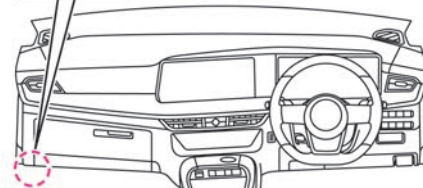
- お子さまには触らせない。
いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。

- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。
やけどをするおそれがあります。

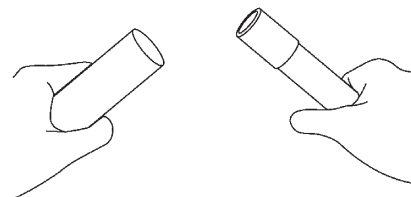
アドバイス

- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

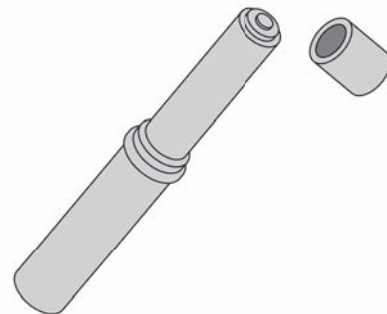
1. 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



2. 本体を回しながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。



3. 先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。



けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

まずはじめに

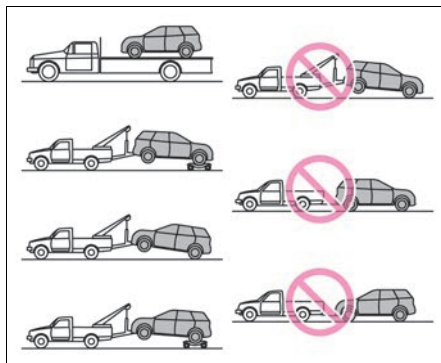
やむをえずけん引されるときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

この車両で他車をけん引することはできません。

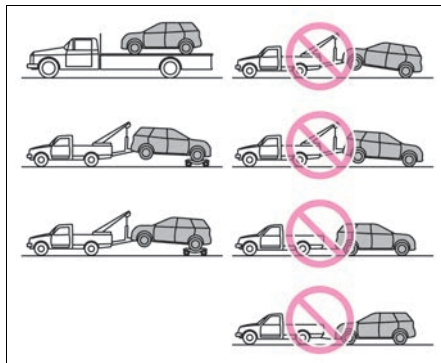
けん引時の注意事項

⚠ 注意

- **2WD車の前輪を持ち上げてけん引するときは、＜パワースイッチ＞をOFFにする。**
VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。
- 車両が動かなかったり、異常な音がしたりするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 車両を運搬するときは、2WD車は前輪または4輪を、e-4ORCE（4WD）車は4輪を持ち上げてけん引してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。



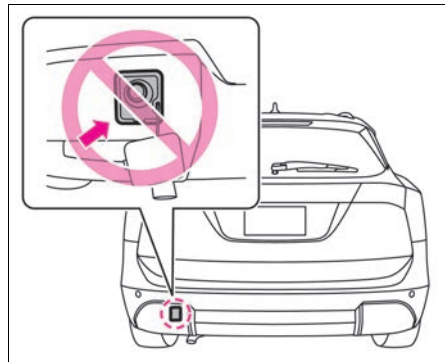
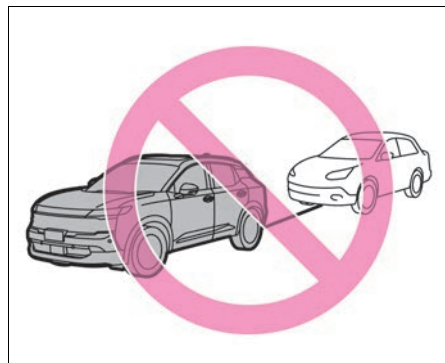
2WD 車



e-4ORCE（4WD）車

リヤフックについて

- 後ろ側についているフック（リヤフック）は船舶輸送時の固定専用です。
けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対使用しないでください。



🚗 アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

まずはじめに

やむをえず4輪接地でけん引される ときは

⚠ 警告

- 4輪接地でけん引されるときは、＜パワースイッチ＞をOFFにしない。

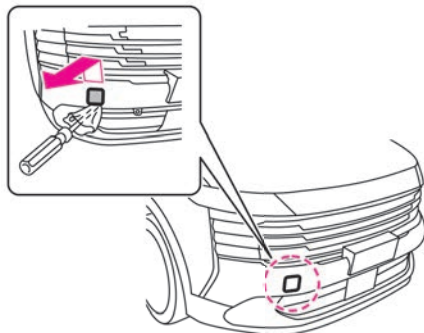
この車両はオートP機能（WEB）により、＜パワースイッチ＞がOFFのときはシフトポジションをPからNに切り替えることができません。また、けん引中は＜パワースイッチ＞をOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

⚠ 注意

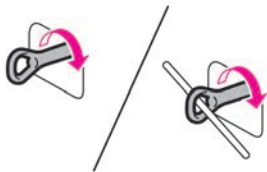
- e-POWERシステムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなったりすることがあるので注意する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、シフトポジションをNに入れて行ってください。

- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

1. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、下側から差し込んでカバーを取り外してください。

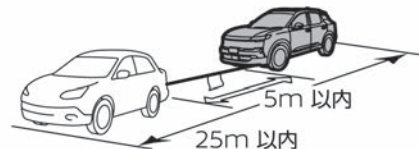


2. 金属の固い棒などを使用して、けん引フックを取り付けます。



3. 自転車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に

30cm×30cm 以上の白い布を取り付けます。
ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。



4. e-POWERシステムを始動しシフトポジションをNにして、パーキングブレーキを解除します。
5. e-POWERシステムが始動できないときは＜パワースイッチ＞をONにし、シフトポジションをNにしてください。

アドバイス

- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。

まずはじめに



知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両には、スベアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については日産販売会社または専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

応急修理を行うときは、次の準備をしてください。

- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
- パーキングブレーキをかける。
- シフトポジションをPにする。
- <パワースイッチ>をOFFにする。
- 非常点滅表示灯を点滅させる。
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。日産販売会社またはJAFなどにご連絡ください。
 - 約6mm以上の切り傷や刺し傷があるとき

- タイヤサイド部が損傷を受けたとき
- ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき
- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 修理剤の有効期限が切れているとき

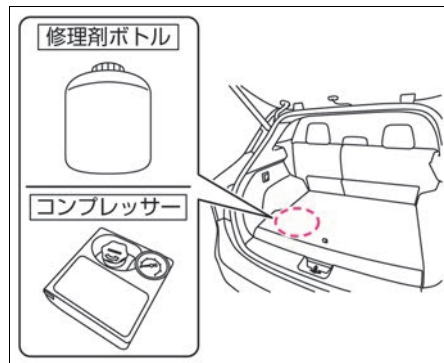
アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

タイヤ応急修理キットについて

※車種により、タイヤ応急修理キットの内容や部品形状が異なります。

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
 - ➡ WEB
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。



応急修理のしかた

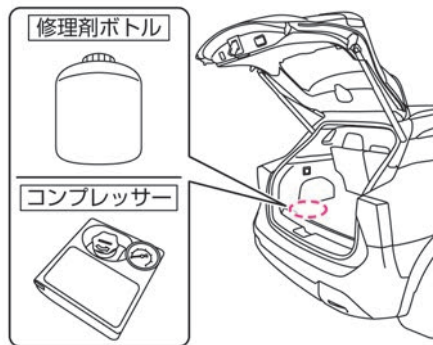
■ コンプレッサーの準備

⚠ 注意

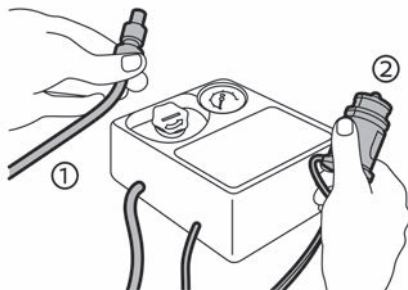
- フロアパネルに触れない。
高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

1. ラゲッジルームからタイヤ応急修理キットを取り出します。

緊急時の対処法



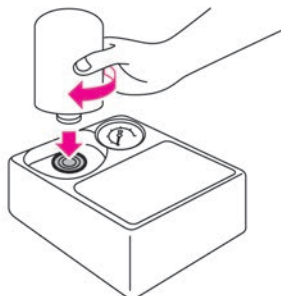
2. コンプレッサーからホース①、電源プラグ②を取り出します。



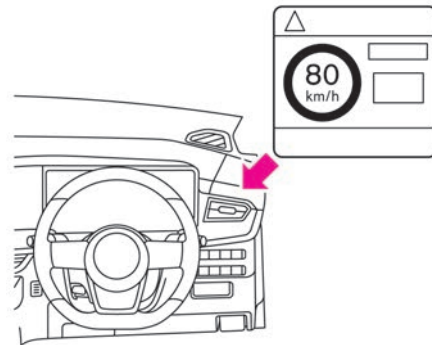
3. コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



4. 修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたを付けたままボトルホルダーに取り付けます。
(ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。)



5. コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。



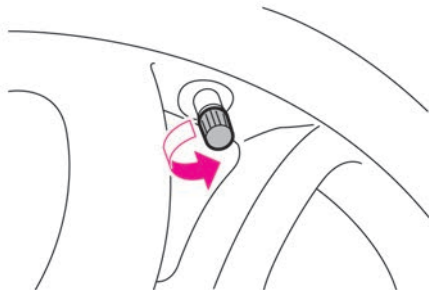
■ エアの注入

⚠ 注意

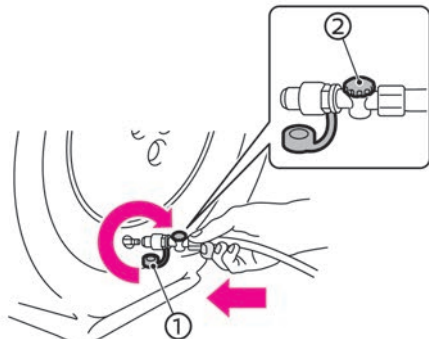
- ホースとタイヤのバルブの接続をしっかりと行う。
接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散ったりするおそれがあります。
- 破裂の危険があるため応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。
- タイヤに亀裂や変形が生じている場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、修理を中止する。
バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。
- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあるため、やけどしないように注意する。

緊急時の対処法

- 1.パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。



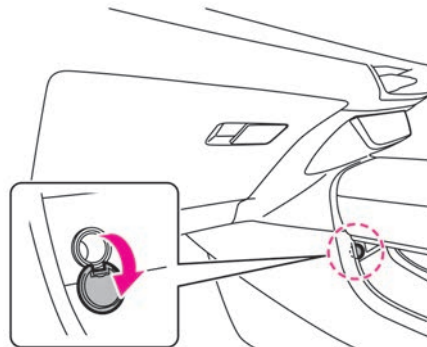
- 2.ホース先端の保護キャップ①を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。
このとき、排気バルブ②が閉まっていることを確認してください。



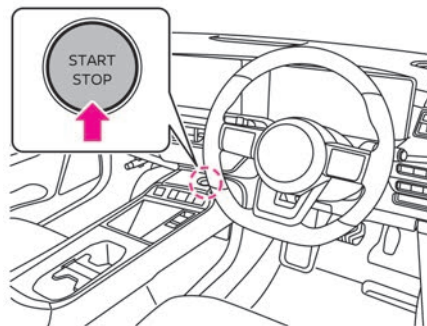
- 3.コンプレッサーのスイッチがOFF（「O」の位置）の状態、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備 WEB：取扱説明書（電子）を参照願います

グを車室内の電源ソケットに差し込みます。



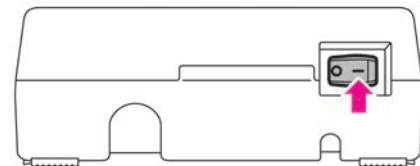
- 4.＜パワースイッチ＞をONにします。



- 5.コンプレッサーのスイッチをON（「I」の位置）にし、タイヤを指定空気圧または180kPa以上になるまで空気を充てんします。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプ

レッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。

※タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。



6. 指定空気圧または180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「O」の位置）にし電源プラグを電源ソケットから抜きます。
7. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

🚗 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがあるため、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。
- 修理剤ボトルは、コンプレッサーのボトルホルダーから取り外さないでくだ

緊急時の対処法

さい。取り外すとボトル内に残った液剤がこぼれるおそれがあります。

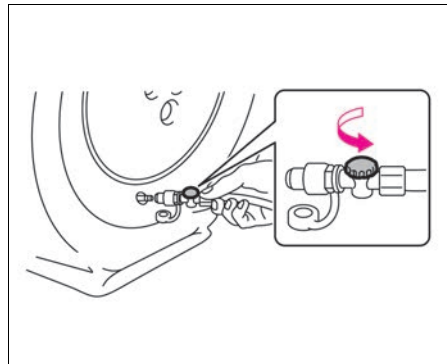
10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理をすることはできません。日産販売会社またはJAFなどにご連絡ください。

空気を入れすぎてしまったとき

排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



■ 点検走行

⚠ 注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

1. ただちに走行を始め、10分間または3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。
2. 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）であることを確認します。コンプレッサーからのホースをタイヤのバルブに取り付け、タイヤ空気圧を確認してください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「|」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

🚗 アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理会社で点検を受けてください。

- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

タイヤ応急修理キットの注意事項

⚠ 注意

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤ応急修理キットは搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

- 修理剤を口に入れない。
修理剤を飲み込むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一、目や皮膚に付着したときは、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

🚗 アドバイス

- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。

緊急時の対処法

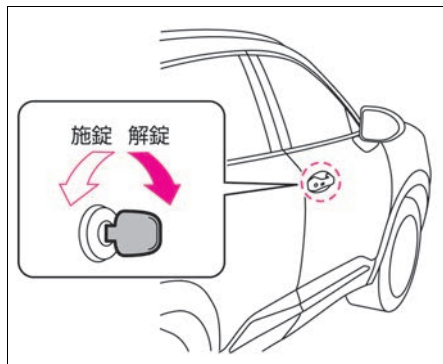
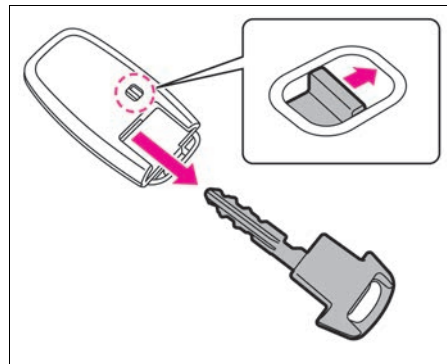
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

インテリジェントキーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた

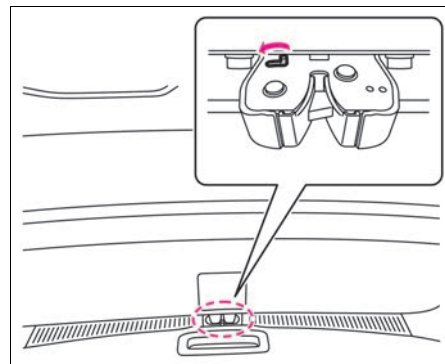
運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両前方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両後方に内蔵キーを回します。



緊急時のバックドアの開けかた

12Vバッテリーあがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- お手持ちの工具（プラスドライバーまたはマイナスドライバーなどの細い工具）を使用して、バックドアの車室内側にあるロック機構のレバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。



🚗 アドバイス

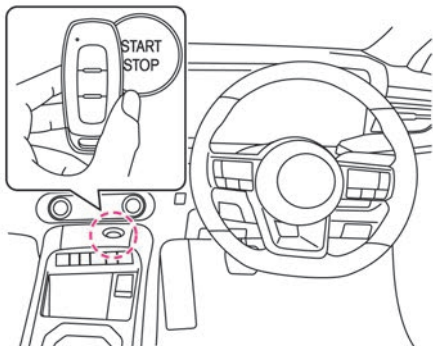
- 上記の手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- <バックドアオープナースイッチ>などの故障につながるおそれがあるため、操作をしたときは日産販売会社で点検を受けてください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

e-POWERシステムを始動できないときは

キーの電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でe-POWERシステムを始動してください。

始動のしかた

1. <パワースイッチ>を押してから、キーのロゴの裏面を<パワースイッチ>に接触させます。
(ブザーが“ピピッ”と鳴ります)



2. ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、<パワースイッチ>を押します。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（ WEB）をご使用ください。
 - キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
 WEB

アドバイス

- 上記の手順でe-POWERシステムを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。

停止のしかた

e-POWERシステムを停止するときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- <パワースイッチ>を2秒以上押し続ける。
- <パワースイッチ>をすばやく3回押す。

12Vバッテリーがあがったときは

12Vバッテリーがあがり、e-POWERシステムの始動ができなくなったときは救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。

警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。
火花が発生し、12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、

やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

- 12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- 12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。
しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

ジャンプスタートのしかた

警告

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、エンジンやモーターに絶対に接続しない。

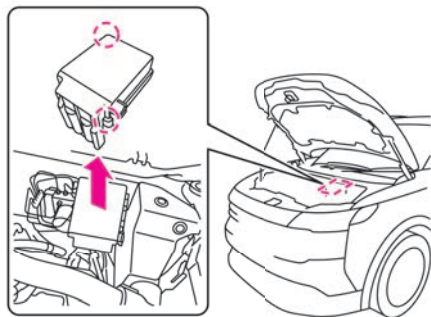
注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触したりしないように注意する。
- ブースターケーブルは、確実に接続する。
救援車のエンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- 冷却ファンやベルトに注意する。

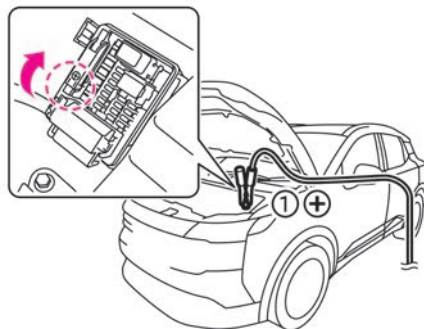
緊急時の対処法

ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

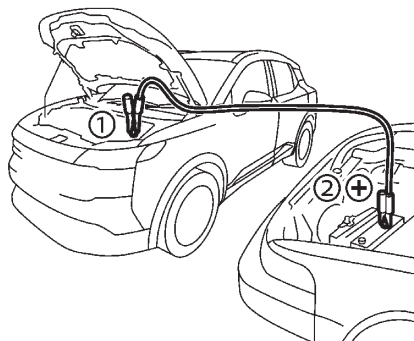
1. 自車と救援車の＜パワースイッチ＞をOFFにします。
WEB
2. 自車のヒューズボックスのカバーをツメを押しながら外します。



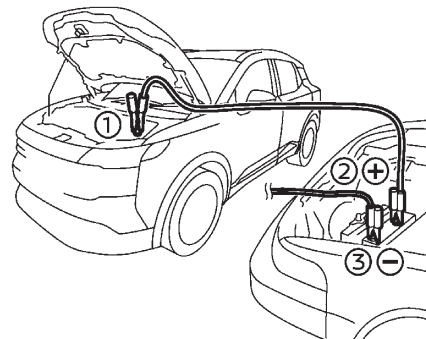
3. ブースターケーブル①を自車のヒューズボックスの⊕端子に接続します。



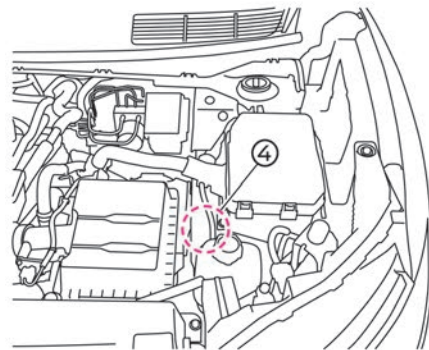
4. 手順3のケーブルの反対側②を救援車の12Vバッテリーの⊕端子に接続します。



5. もう1本のブースターケーブル③を救援車の12Vバッテリーの⊖端子に接続します。



6. 手順5で接続したケーブルの反対側をイラストのような自車の車体④に接続します。



7. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めます。
8. 自車のブレーキペダルをしっかりと踏みながら、＜パワースイッチ＞を一回押します。

緊急時の対処法

9. メーターに、走行可能表示灯 [READY] が点灯したこと、e-POWERシステム警告灯が表示されていないことを確認し、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。

- e-POWERシステム警告灯またはヘッドランプ警告が表示されている場合は、ブースターケーブルをつないだ状態で、＜パワースイッチ＞をOFFにして運転席ドアを一度開閉し、そのまま何も操作せず3分以上経過してから、もう一度＜パワースイッチ＞をONにしてe-POWERシステム警告灯が消灯していることを確認してください。

アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- この車両を救援車として使用しないでください。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- e-POWERシステムが始動できない場合には、＜パワースイッチ＞をOFFにしてください。インテリジェントキーを車室内に置いた状態で、一度運転席ドアを開閉したあと、NissanConnectインフォテインメントシステム★、ドアロックなどすべての操作を行わず、ドアを閉じた状態のまま3分以上待機します。その後、再始動してください。
- 12Vバッテリーがあがると、＜パワースイッチ＞のON・OFFができなくなり

ます。すみやかに12Vバッテリーを充電してください。

- e-POWERシステムを始動するときは、ヘッドランプやエアコン、およびその他の電装品はOFFにしてください。
- e-POWERシステムが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使用しないでください。

出力制限表示灯が点灯したときは

出力制限表示灯 [] が点灯したときは、次の対処方法に従ってください。

走行中に出力制限表示灯が点灯したとき

■ 対処方法

- 高速道路を走行しているとき
 - ー 80km/h以下で走行してください。次のパーキングエリアまたはサービスエリアで車両を止め、出力制限表示灯 [] が消灯するまで待ちます。
- 登坂路を走行しているとき
 - ー 安全な場所に停車し、出力制限表示灯 [] が消灯するまで待ちます。
- 一般道を走行しているとき
 - ー 安全な場所に停車し、出力制限表示灯 [] が消灯するまで待ちます。

走行中に再度出力制限表示灯 [] が点灯する場合は、 WEBの手順に従ってください。

■ 注意事項

- 他の警告灯が点灯しているときは、そちらの警告灯に対する処置を優先して行ってください。出力制限表示灯 [] のみが点灯した場合は、前述の対処方法に従ってください。

処置のしかた

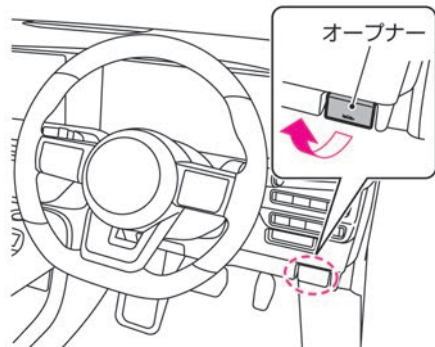
警告

- ボンネットを開けるときは十分に注意する。
エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。
やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
e-POWERシステムを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を停めて処置をする。
そのまま走行を続けると、インバーター故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

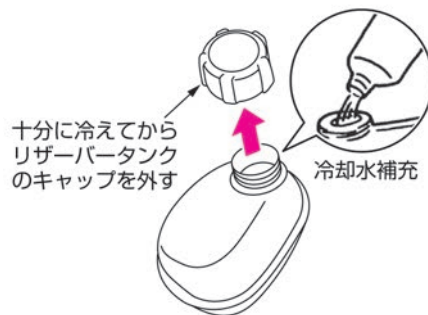
1. ただちに安全な場所に停車します。
 WEB



2. e-POWERシステムを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにe-POWERシステムを停止し、自然冷却してください。



3. メーター内の出力制限表示灯 [] が消えたら、e-POWERシステムを停止させしばらく待ちます。
モーターが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。
4. 冷却水が不足しているときは、インバーター冷却用ラジエーターリザーバタンクに冷却水を補充してください。
- ➡WEB
補充後は、しっかりキャップを閉めてください。



5. 走行中、再度メーター内に出力制限表示灯 []、および警告メッセージが表示されたら、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。

⚠ 警告

システム保護のため
一時的に出力制限中
安全な場所に車を止め
取扱説明書を見てください

6. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

ブザー（警報音）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ...（数秒間）	ドアにあるスイッチを押したとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯していないか キーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れているか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアにあるスイッチを押していないか
		キーの＜ドア施錠スイッチ＞を押したとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯していないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に＜ドア施錠スイッチ＞を押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアにあるスイッチを押していないか
	ピッピッピッ（3回）	ドアを閉めたとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯しているときに、キーが車外に持ち出されていないか
		走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
	ピー（継続）	ドアを閉めたとき	シフトポジションがP以外のまま、キーが車外に持ち出されていないか
車室内	ポロポロポロ（3回）	ドアを閉めたとき	走行可能表示灯〔READY〕が点灯しているときに、キーが車外に持ち出されていないか
		＜パワースイッチ＞を押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください
	ポロポロポロ...（繰り返す）	運転席ドアを開けたとき	＜パワースイッチ＞がONのままになっていないか シフトポジションをPにしているか

窓ガラスがくもったときは

- <デフロスタースイッチ>は、<パワースイッチ>がONのとき使えます。<リヤデフォッガースイッチ>は、走行可能表示灯〔READY〕が点灯しているときに使えます。

フロントガラスのくもりの取りかた

⚠ 注意

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

- <デフロスタースイッチ>をタッチするとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
(スイッチの表示灯が点灯)

- 止めるときは、もう一度スイッチをタッチします。
(スイッチの表示灯が消灯)

デフロスタースイッチ (🔌WEB)

🚗 アドバイス

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- <デフロスタースイッチ>は、連続して長時間ONにしないでください。消費電力が多いため、12Vバッテリーあがりの原因になります。

バックドアガラスのくもりの取りかた

- <リヤデフォッガースイッチ>をタッチすると約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。
(スイッチの表示灯が点灯)

- 止めるときは、もう一度スイッチをタッチします。
(スイッチの表示灯が消灯)

リヤデフォッガースイッチ (🔌WEB)

- <リヤデフォッガースイッチ>をタッチすると、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。

🚗 アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が多いため12Vバッテリーあがりの原因になります。

■ ワイパーデアイサー★

- フロントガラスを温めて、ガラス下端にたまった雪を取り除きやすくします。
<リヤデフォッガースイッチ>をタッチすると約15分間作動します。
(スイッチの表示灯が点灯)

- 止めるときは、もう一度スイッチをタッチします。
(スイッチの表示灯が消灯)

🚗 アドバイス

- ガラスにたまった雪はこまめに取り除き、視界を確保してください。

オーバーヒートしたときは

アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバーヒート警告 (🔌WEB) が表示されたときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

処置のしかた

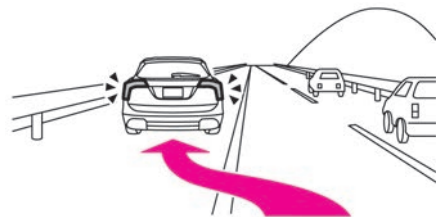
⚠ 警告

- ボンネットを開けるときは十分に注意する。
エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。
やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
e-POWERシステムを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- エンジンが十分に冷えていないときは、リザーバタンクのキャップを外さない。
蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。
そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

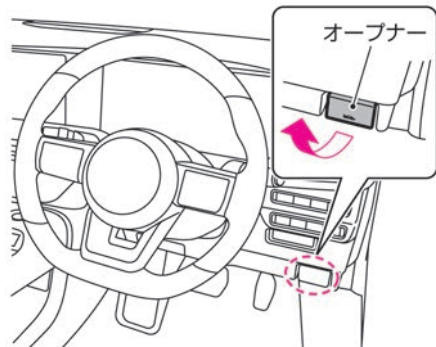
1. ただちに安全な場所に停車します。
🔌WEB

緊急時の対処法

トラブルがおきたときは



2. e-POWERシステムを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにe-POWERシステムを停止し、自然冷却してください。



3. アドバンスドドライブアシストディスプレイのオーバーヒート警告が消

えたら、e-POWERシステムを停止させしばらく待ちます。エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



警告

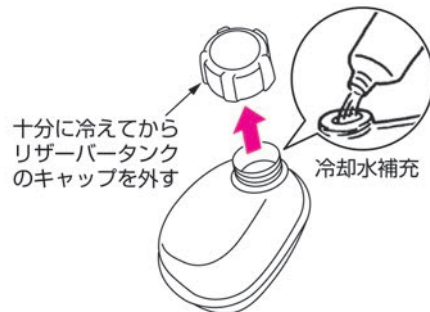


オーバーヒート
安全な場所に車を停め
取扱説明書を見てください

4. 冷却水が不足しているときは、エンジン冷却用のリザーバタンクに冷却水を補充してください。



WEB
補充後は、しっかりキャップを閉めてください。



5. 走行中、再度アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバーヒート警告が表示されたら、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。
6. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

雪道やぬかるみにはまったときは

雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた



警告

- 周囲の安全を必ず確認する。

緊急時の対処法

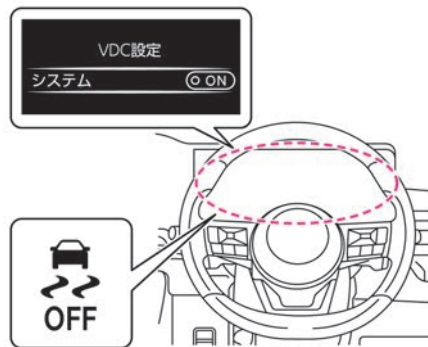
周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もいないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。

- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。
急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

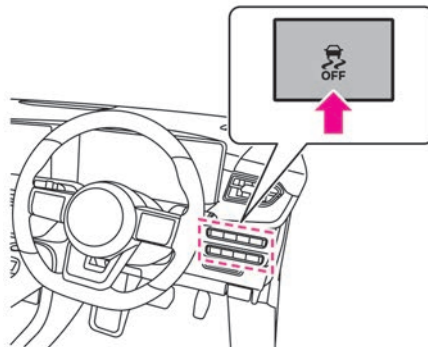
⚠ 注意

- 脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。
タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品が異常過熱したりすることにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. アドバンスドドライブアシストディスプレイ、またはVDC OFFスイッチでVDCをOFFにします。



VDC OFF スイッチ無車



VDC OFF スイッチ付車

2. e-4ORCE（4WD）車は、ドライブモードセレクター（WEB）をSNOWに切り替えます。

3. 車両の前後に障害物がないことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。
4. ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

🚗 アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

水没したときは

水没したときの対処のしかた

⚠ 警告

- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車室内に入り、ケガをするおそれがあります。

緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

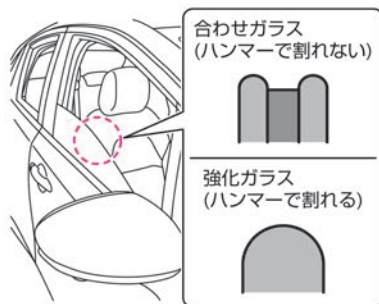
- フロントウインドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。フロントドアガラス、リヤドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。
- ドアガラスは車種によって、合わせガラスを使用しています。ただし、車両の仕様変更により合わせガラスの位置が異なる場合があります。

緊急時の対処法

合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。

Eマーク



■合わせガラス：XI、V-VI
■強化ガラス：無印、V

JISマーク



■合わせガラス：L
■強化ガラス：T

※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない、またはガラスの種類を示す表示の位置が異なる場合があります。

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- <パワーウィンドスイッチ>を押しても窓ガラスが開かない場合、次の方法で脱出してください。
 - ー 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
 - ー 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらい

まで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。

（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます）

- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

外装ランプが点灯しないときは

- 外装ランプはすべてLEDです。LEDが一部でも点灯しない場合は日産販売会社で点検を受けてください。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。またレンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

ヒューズが切れたときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、日産販売会社にご相談ください。

日産e-POWERとは

安全にご利用いただくために	P.66
---------------	------

安全なドライブのために

運転する前に	P.67
シートベルト	P.68
エアバッグ	P.69
お子さまの安全のために	P.71

各部の操作

キー	P.78
ドアの施錠と解錠	P.78
シート・ハンドルの調節	P.80
ミラーの調節	P.81
窓ガラスの開閉	P.82
燃料補給口の開閉	P.83
エアコンの操作	P.83
オーディオ★	P.84
NissanConnectインフォテインメントシステム★	P.84
USB電源ポート	P.85
再生する	P.85

運転のしかた

始動する	P.86
運転する	P.86
ランプをつける、ワイパーを使う	P.88

運転支援機能	P.89
駐車支援システム	P.101

室内装備

収納装備	P.104
その他の室内装備	P.104

日産e-POWERとは

安全にご利用いただくために

e-POWERの取り扱いに関する注意事項

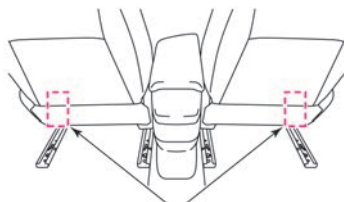
⚠ 警告

e-POWERシステムを適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

- **高電圧部位には触れない。**
最大で約400Vの直流高電圧が使用されているため、高電圧ケーブルやコネクタ、高電圧部品（走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないでください。感電すると生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。車両のエンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。
- **リチウムイオンバッテリーに水をかけない。**
車室内、ラゲッジルームにふたのないバケツや水槽など、水がこぼれるおそれがあるものは置かないでください。リチウムイオンバッテリーに水がかかると故障の原因になります。

⚠ 注意

- **高温に注意する。**
走行直後はエンジンルーム内が高温になっている可能性があります。エンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。
- **冷却用空気取入口をふさがない。**
前席シート下にリチウムイオンバッテリーを冷却するための空気取入口があります。性能低下や車両故障につながるため、荷物や衣類などで空気取入口をふさがないでください。また、液体や砂など、異物が入らないように注意してください。万一、リチウムイオンバッテリー周辺に多量の液体をこぼしてしまった場合は、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。



空気取入口

- **前席シート下には重量物を載せない。**
前席シート下にはリチウムイオンバッテリーが配置されているため、重量物を載せたり踏みつけたりして強い負荷をかけないように注意してください。

e-POWERが事故にあったときの注意事項

⚠ 警告

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。

- **高電圧部品および高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触れない。**
高電圧部品および高電圧ケーブルの位置は、(🔍WEB)を確認してください。
- **リチウムイオンバッテリーから液漏れが見られる場合は、すみやかに日産販売会社に連絡する。**
火災が発生するおそれがあります。
- **車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れない。**
万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。

- **走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷がないか点検する。**
床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れずすみやかに日産販売会社にご連絡ください。
- **リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、できるだけ早く車両から離れる。**
火災を消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BCまたはCタイプ）を使用してください。消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能です。不適切な消火作業は危険なため、絶対に行わないでください。
- **事故などで車両が損傷し、安全であることを確認できない場合は、車両から離れて日産販売会社に連絡する。**
日産販売会社にご連絡するときは、（ガソリンエンジン車ではなく）e-POWERシステムである旨をご連絡ください。
- **板金・塗装による修理が必要な場合は、必ず日産販売会社に連絡する。**
車体が大きく破損・変形しているとき、破損の状態によっては漏電や感電のおそれがあります。高電圧部位（リチウムイオンバッテリーなど）、およびこれらを接続する配線（オレンジ色）には絶対に触らないでください。
- **事故などでランプが破損したまま走行しない。**
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

安全なドライブのために

運転する前に

運転前の準備

正しい運転姿勢について

⚠ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。
固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれと背中の上にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転するときに注意すること

⚠ 警告

排気ガスには十分注意する

- 排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。
- 次の状況では、e-POWERシステムを長時間作動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。
 - 雪が積もった場所に駐車するとき
 - 降雪時に駐車するとき
 - 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐車するとき
 - 仮眠や長時間の駐車をするとき

- 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
- 他車の排気口が近くにあるとき
- 走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。
走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意ください

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。12Vバッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発のおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。また、床やシートのすき間に落としたり、荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- 排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気管が腐食したり路面干涉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。
- 事故などでランプが破損したまま走行しない。
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

e-POWERシステムを作動したまま仮眠をしない

- 万一、シフトポジションがP以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識に<シフトスイッチ>を操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- ウィンドーにアクセサリを取り付けられない。
視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをしたりして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバックが作動したときアクセサリが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

- 市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適合しない部品を使用しない。
正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り

安全なドライブのために

付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ハンドルの取り外しや交換を適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

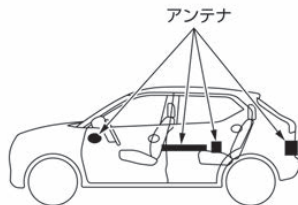
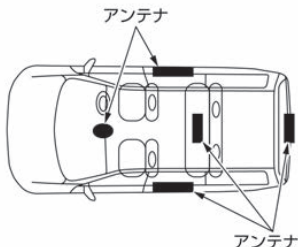
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項

⚠ 警告

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

インテリジェントキーについて

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD) を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアにあるスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などに発生するキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD) の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD) 以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

SOSコール★について

- SOSコールは無線通信機能を利用しているため、心臓ペースメーカーやその他医療用電気機器を使用する場合は、当該各医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響について必ず確認する。
SOSコールの電波が医療用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

➡ WEB

シートベルト

3点式シートベルト

⚠ 注意

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しない。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。
誤って作動したり、正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

プリテンショナーシートベルトについて

⚠ 警告

- SRSエアバッグ警告灯が点灯しているときは走行しない。
<パワースイッチ>をONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠ 注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。

シートベルトの着用のしかた

⚠ 警告

- ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。
万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 後席シート中央席のシートベルトを使用するときは、バックルに「CENTER」と表示されているものを使用する。
シートベルトが正しく着用できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルトの注意事項

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用する。

安全なドライブのために

着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

- **シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。**
シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
 - 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
 - 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
 - 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身が拘束できないことがあります。
 - クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果が発揮できないことがあります。
- **シートの背もたれを倒したまま走行しない。**
シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**
シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**

ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
② WEB
- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**
一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルトに傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

⚠ 注意

- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮できないことがあります。
シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

エアバッグ

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**
 - <パワースイッチ>をONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
 - SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき
SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。
- **正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。**
SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。
- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けけない。**
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

② WEB



- **必ず次のことを守る。**
SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなったりし、重大な傷害につながるおそれがあります。
- SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついているとき、およびひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
SRSエアバッグ（前席）の格納場所は（㊟WEB）をお読みください。
SRSサイドエアバッグ（前席）の格納場所は（㊟WEB）をお読みください。
SRSカーテンエアバッグの格納場所は（㊟WEB）をお読みください。
- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用したSRSエアバッグの回路診断、または回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどの取り付けや、サスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。
- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグに触らない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。

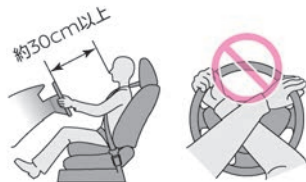
- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）**
などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

SRSエアバッグ（前席）

SRSエアバッグ（前席）の注意事項

⚠ 警告

- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。**また、内がけでのハンドル操作はしない。
ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



- **不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼ったりしない。**
SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



ステッカー

- **フロントガラスにアクセサリなどを付けない。**
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。**
SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。
- **チャイルドシートは後席シートに取り付ける。**

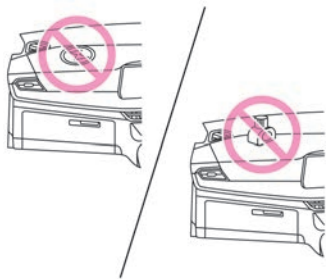


安全なドライブのために

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。

- **チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。**
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- **SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリや芳香剤などを置いたりしない。**
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグ（前席）

SRSサイドエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。**
ドアにもたれるなど、前席シートの背もたれ側面（外側）に近づかないでください。

特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。

- **前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。**
- **シートカバーは、前席シート背もたれ側面を覆わないものを使用する。**
SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。

⚠ 注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSサイドエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

SRSカーテンエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。**
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリやハンガーなどを取り付けない。**
SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること

⚠ 警告

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

お子さまにもシートベルトを着用する

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまをひざの上に抱えていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

📄 WEB

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**

📄 WEB

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- **チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。**
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けられない。**
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

安全なドライブのために



- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲージルーム（荷室）などに収納する。
車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席シートに乗せる

- お子さまを助手席に乗せるのは避ける。
お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになったりするおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。
開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（WEB）や<パワーウインドーロックスイッチ>（WEB）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。

急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

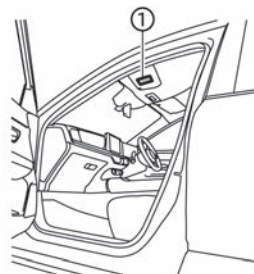
- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

チャイルドシート

お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けけない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



① エアバッグ警告ラベル



チャイルドシートについて

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いについては、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44またはR129の基準に適合したi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX対応取付装置を標準装備しています。

知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。

安全なドライブのために

- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



チャイルドシートのカテゴリー（universalは汎用品の認可であることを表します。）



チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。i-SizeおよびISO FIX対応チャイルド

シートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取付けることができます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。

📶 WEB

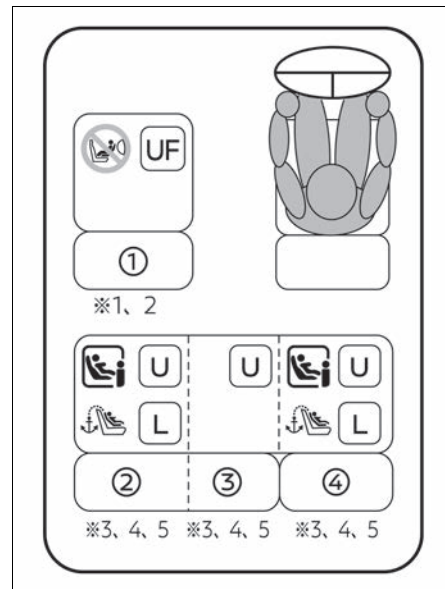
■ i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシート

後席シートに付属しているi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX対応取付装置で固定します。

📶 WEB

使用できるチャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。



- ※1：チャイルドシートを装着する際は、座席スライドを最も後方に調整してください。
- ※2：チャイルドシートを装着する際は、座席背もたれを最初にロックする位置から5ノッチ動かしてください。
- ※3：後席にチャイルドシートを装着する際は、背もたれを最初にロックする位置に調整してください。
- ※4：後席にチャイルドシートを装着する際は、前席を干渉しない位置に調整してください。
- ※5：後席にチャイルドシートを装着する際は、クッション座面の真ん中に置いた状態で装着してください。

安全なドライブのために

- ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は、ヘッドレストの取り外しが可能なときは、ヘッドレストを取り外してください。取り外しができない場合は、ヘッドレストを一番上まで上げてください。

マーク	説明
	車両シートベルト固定式汎用型チャイルドシートに適している
	車両シートベルト固定式の前向きに取り付ける汎用型チャイルドシートに適している
	i-SizeおよびISO FIXチャイルドシートに適している
	後ろ向きチャイルドシート取付禁止
	ISO FIXチャイルドシート上部取付金具（トップデザーアンカレッジ）を装備している座席
	添付リストに記載されたチャイルドシートに適している

幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

シート位置番号	助手席	後席		
	①	②	③	④
汎用ベルト式に適する着席位置 (○/×)	○ (前向きのみ)	○	○	○
i-Size着席位置 (○/×)	×	○	×	○
横向き固定具に適する着席位置 (L1/L2)	-	-	-	-
適する最大の後ろ向き固定具 (R1/R2/R2X/R3)	-	R2	-	R2
適する最大の前向き固定具 (F2/F2X/F3)	-	F3	-	F3
適する最大のブースタ固定具 (B2/B3)	-	B3	-	B3

● ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44またはR129の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

■ 推奨チャイルドシート

日産自動車が推奨するチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

年齢 (目安)	体重 (目安)	身長 (目安)	推奨チャイルドシート	座席位置				
				①	①*	②	③	④
0-18か月	<13kg	<100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (後向き)	×	×	○	×	○
9か月-4歳	9-18kg	76-100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (前向き、後向き)	×	×	○	×	○
4-6歳	15-25kg	100-125cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	×	○	×	○
6-12歳	22-36kg	125-150cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	×	○	×	○

*BOSEパーソナルプラスサウンドシステム付車

● チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合はヘッドレストを一番上に調整してください。上げて安定しない場合にはヘッドレストを取り外してください。(BOSEパーソナルプラスサウンドシステム付車は除く)

安全なドライブのために

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

警告

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

1. ヘッドレストを外し（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置きます。

WEB

シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“力チツ”と音がするまで確実に差し込みます。



2. チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

警告

- i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストを取り外す。（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）
- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。
- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカレッジ部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。

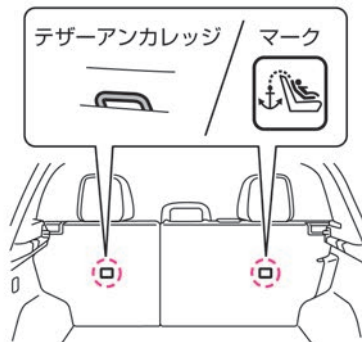
チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX口アンカレッジは、後席シート左右背もたれのマーク下側にあります。
ヘッドレストを外して（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカレッジに固定します。

WEB



2. デザアンカレッジは、後席シート背もたれ裏側にあります。
デザアンカレッジにフックを固定し、デザーベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



知識

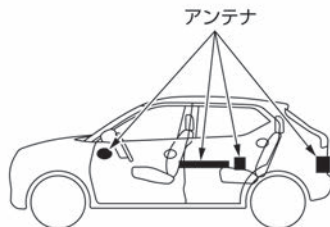
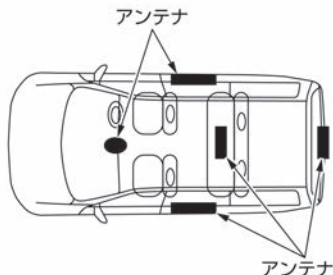
- i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX対応
取付装置は、ロアアンカレッジとテザーアンカレッジの2種類があります。
ロアアンカレッジは後席シート左右背もたれのマーク下側にあり、テザーアンカレッジは背もたれ裏側にあります。
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

キー

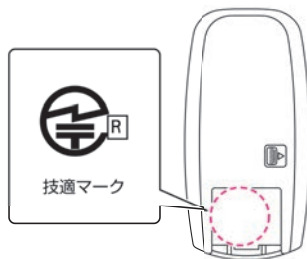
インテリジェントキーに関する注意事項

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などにキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。
万が一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バックなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。
- キーの認証技術マークはキーの裏面で確認できます。



ドアの施錠と解錠

ドア

ドアに関する注意事項

⚠ 警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉める。
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずe-POWERシステムを止め施錠する。

バックドア

バックドアに関する注意事項

⚠ 警告

- バックドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にバックドアを確実に閉める。

各部の操作

走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

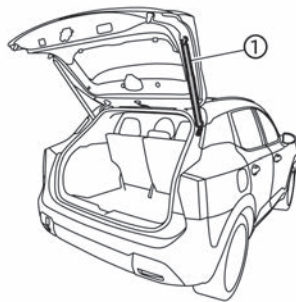
- ラゲジールーム（荷室）に人を乗せて走行しない。
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行前にバックドアが確実に閉まっていることを確認する。
バックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。手で閉める際は、必ず外から押して閉めてください。
- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。
重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。
風にあおられ、急に閉まる場合があります。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

バックドアガスステーについて

- バックドアのガスステー①は、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。
 - ー ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ー ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をガスステーに付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。
手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。



リモコンオートバックドア★

挟み込み防止機構について

⚠ 注意

- 手などを挟まないように十分注意する。
挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。

オートクローザーについて

⚠ 注意

- バックドアを閉めるときは、バックドアや車体側に手を触れていたり、ドアグリップを握ったりしない。また、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。バックドアを閉めるときは、必ず外から押して閉めてください。

ガレージモードの設定のしかた

⚠ 注意

- バックドアの止まる位置を全開位置から1/3以下の高さに設定しない。
バックドアの止まる位置を1/3以下に設定しても、自動的に1/3の高さに設定されます。設定した高さよりも開くため、思わぬケガや破損につながるおそれがあります。

リモコンオートバックドアに関する注意事項

⚠ 注意

- 確実に停車している状態で開閉操作をする。
- 開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を十分確認する。
バックドアに当たり、ケガをしたり物を損傷したりするおそれがあります。
- 車が大きく傾いている状態ではオート作動をしない。
- オート作動中にバックドアを押したり引いたりしない。

各部の操作

反転して挟まれたり、バックドアに当たりケガをしたりするおそれがあります。

シート・ハンドルの調節

前席シート

シートの調節のしかた（パワーシート）

⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。挟まれてケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

シートの調節のしかた（マニュアルシート）

⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

ヘッドレストの調節のしかた

⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- 取り外しボタンが飛び出た状態で使用しない。

後席シート

シートの調節のしかた

⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。背もたれが確実に固定されていないときは、レバーに赤色が見えます。背もたれを前後に軽く揺さぶり、赤色が見えていないことを確認してください。

各部の操作

固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

シートの折りたたみかた

⚠ 警告

- シートは必ず固定する位置で使用する。

⚠ 注意

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗りない。
シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。
急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれで挟み込んでいないことを確認する。
挟み込まれていると、シートベルトが正しく着用できません。

ヘッドレストの使いかた

⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。

万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- 後席シート中央席のヘッドレストは、ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認する。
格納状態では機能が十分に発揮できません。

ハンドル

ハンドル位置の調節のしかた

⚠ 警告

- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの調節

ルームミラー★

ルームミラーの調節のしかた

⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行う。

走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

インテリジェント ルームミラー★

インテリジェント ルームミラー使用時の注意事項

⚠ 警告

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。
ルームミラーモード（ミラー状態）にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示状態）にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。
- インテリジェント ルームミラーモードのときに作動表示灯（故障通知LED）が消灯したり、すみやかにルームミラーモードに切り替える。
再度インテリジェント ルームミラーにしても点灯しない場合、システムの異常が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- あらかじめ死角範囲を確認する。
インテリジェント ルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。
異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。
- 走行中に操作しない。
走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部の操作

- ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。
破損や車両火災の原因となります。

⚠ 注意

- モニターを凝視しない。
 - 一 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 一 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 太陽や後方車両のヘッドランプなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェントルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。

ドアミラー

ドアミラーの注意事項

⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れない。
手を挟む、またはミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。

サイドアンダーミラー★

サイドアンダーミラーについて

⚠ 注意

- 発進時や停車時にはサイドアンダーミラーだけでなく、直接目視で周囲の安全を確認する。
- 走行中に後方を確認するときは、ルームミラーまたはドアミラーで確認する。
サイドアンダーミラーは車の近くを確認するため、角度が下向きにセットされています。

窓ガラスの開閉

パワーウインドー

パワーウインドーの注意事項

⚠ 警告

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。
 - 一 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
 - 一 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
 - 一 お子さまにはパワーウインドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、＜パワーウインドーロックスイッチ＞を押し込んでください。
 - 一 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近

にないことを確認してから操作を行ってください。

- 一 車から離れるときは＜パワースイッチ＞をOFFにし、キーとお子さまを車室内に残さないでください。いたすらの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスには挟み込み防止機構がありますが、窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

挟み込み防止機構

⚠ 警告

- 窓ガラスを閉める前に乗員の手や顔などが窓から出ていないことを確認する。
挟み込み防止機構を解除すると、自動開作動と挟み込み防止機構が作動しません。確認せずに窓ガラスを閉めると重大な傷害につながるおそれがあります。

パノラミックガラスルーフ★

パノラミックガラスルーフの注意事項

⚠ 警告

- 乗員の操作を含めすべてのガラスルーフやサンシェード開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。
 - 一 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。

各部の操作

- 閉めるときは、ガラスルーフから手や顔などを出していないことを確認してください。手や顔などをガラスルーフやサンシェードに挟むと、重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまには操作させないでください。お子さまの誤った操作により事故につながるおそれがあります。お子さまや他の人がガラスルーフやサンシェードに挟まれ重大な傷害につながるおそれがあります。
- 車から離れるときは<パワースイッチ>をOFFにし、キーとお子さまを車室内に残さないでください。いたすらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 故意に挟み込み防止機構を動かさないでください。万一、手や顔などをガラスルーフやサンシェードに挟むと、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 指などを挟まれないように注意する。ガラスルーフには挟み込み防止機構がありますが、確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。
- 運転中はパノラミックガラスルーフの開閉操作を行わない。前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。操作は信号待ちなどの停車中に行ってください。
- ルーフに水や雪などがあるときは開けない。突然の水や雪に驚き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

燃料補給口の開閉

燃料補給口

燃料補給時の注意事項

⚠ 警告

- 燃料補給時は、次のことを必ず守る。
 - e-POWERシステムを停止する
 - 車のドアや窓を閉める
 - タバコなどの火気を近づけない
 - 一酸化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行う。作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。
- 給油自動停止後、すぐに給油ノズルを引き抜かない。給油ノズル内に残った燃料がこぼれ出るおそれがあります。
- 携行缶から給油する場合、給油ノズルを確実に奥まで差し込む。給油口には2枚のフラップがあります。給油ノズルを2枚目のフラップの奥まで差し込まないと、給油できず燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- フラップを指などの給油ノズル以外のもの
- で開く、またはのぞき込んだりしない。フラップの故障やシール不良、損傷のおそれがあります。
- リッドが開いた状態で、高圧洗浄機で給油口付近を洗浄しない。燃料タンク内に水が混入するおそれがあります。

エアコンの操作

オートエアコンシステム（タイプB）

オートエアコンの使いかた

⚠ 注意

- インストルメントパネルのスイッチの前には何も置かない。意図しない動作をする場合があります。

エアコンを使うときに注意すること

エアコンに関する注意事項

⚠ 注意

- A/CスイッチOFF時に内部循環で長時間使用しない。窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険なため、一時的にご使用ください。
- 吹き出し風を長時間連続して身体に当てない。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間当たらないように運転者が注意

各部の操作

してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

オーディオ★

オーディオの使いかた

安全運転のために

⚠ 警告

- 走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。前方不注意となるおそれがあります。
- 音量を大きくしない。大きすぎると車外の状況がわからないため、思わぬ事故の原因となります。

NissanConnectインフォテインメントシステム★

安全上のご注意

運転中のご注意

⚠ 注意

- 操作または画面を注視する際は、必ず安全な場所で停車してください。
- 運転中にオーディオなどを使用するときは、車外の音が聞こえる音量でご使用ください。外部の音が聞こえない状態で運転すると、安全運転の妨げになります。

停車時のご注意

⚠ 警告

- e-POWERシステムを停止した状態でのご使用は12Vバッテリーあがりの原因となります。オーディオなどのご使用はe-POWERシステム作動中に行ってください。屋内などの換気の悪いところで、e-POWERシステムを作動させたままにしないでください。車内や屋内に排気ガスが充満して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

NissanConnectインフォテインメントシステム★についてのご注意

⚠ 警告

- 本体および接続機器を分解・改造・取り外しなどしないでください。感電・故障などの原因となります。
- 故障の原因となりますので、本体およびUSBメモリなどの挿入口に異物を入れないでください。
- 画面が表示されない、音が出ないなど、異常が発生したときは使用を中止してください。お客さまご自身で修理を行わずに必ず日産販売会社にご相談ください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、Telematics Control Unitアンテナから約15cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。サービスご利用時などにTelematics Control Unitの電波が植込み型ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。医療電気機器製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。

🚗 アドバイス

- ディスプレイの清掃は、車を安全な場所に停車して行ってください。
- ディスプレイの清掃は、システムの電源をOFFにして行ってください。電源がONのまま清掃すると誤操作の原因となります。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入り込むと、故障の原因になります。
- 低温時や高温時に一部の機能が動作しない場合があります。
- 本製品の故障、誤作動または不具合により本体に保存されなかった場合、データおよび消失したデータの補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。
- ETCユニット★を改造すると電波法により罰せられることがあります。
- 本システムは、複数のアプリケーションやスイッチ操作を同時に処理しますが、それらによるシステムへの負荷のため、動作が遅くなったり、システムがフリーズしてしまう可能性があります。スイッチ操作は、一つ一つゆっくりと行ってください。システムの反応が遅い場合、少々お待ちいただくか、お待ちいただいても現象が解消しない場合は、コントロールパネルの<⏻/VOL>ダイヤルを約10秒以上長押ししてシステムを再起動してください。
- 本システムは、<パワースイッチ>をONにした後、全てのアプリケーションが起動し使用可能になるまでに、約1分程度かかります。ただし、以下の機能は操作可能です。
 - ①オーディオのボリューム調整
 - ②音楽再生

本製品は、電波法と電気通信事業法に基づく適合証明を受けております。
Model name: CCS2SBXQ

各部の操作

Ⓔ Ⓓ 201-240604

Ⓔ Ⓓ D 24 0099 201

Model name : LANR41

電波法により5.2(W52)/5.3(W53) GHz帯

は屋内使用に限ります。

本製品の改造は禁止されています。（適合証明番号などが無効となります。）

USB電源ポート

⚠ 注意

- USBデバイスを接続口に無理やり押し込まないでください。故障の原因になります。

再生する

⚠ 警告

- 接続するオーディオ機器のUSBケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

⚠ 注意

- 本体に接続するオーディオ機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

運転のしかた

始動する

パワースイッチ

⚠ 警告

- **e-POWERシステムを始動する前にペダルの位置を確認する。**
ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- 換気の悪い場所では、**e-POWERシステムを長時間作動したままにしない。**
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **e-POWERシステムを始動するときは、必ず運転席に座る。**
運転席以外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

停止のしかた

⚠ 警告

- **<パワースイッチ>をOFFにするときは、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションがPであることを確認する。**
車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

非常停止のしかた

⚠ 警告

- **非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。**

非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

運転する

シフトスイッチ

⚠ 警告

- **<シフトスイッチ>の操作は必ず走行可能表示灯 [READY] が点灯したことを確認してから行う。**
走行可能表示灯 [READY] が点灯する前に<シフトスイッチ>を操作すると、目的のシフトポジションに切り替わらず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD)、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、装着部位を<シフトスイッチ>に近づけない。**
強力な磁石が内蔵されているため、医療電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

- **<シフトスイッチ>に磁気カードや磁力のあるものを近づけない。**
誤作動を引き起こし、事故につながるおそれがあります。
- **次のような操作を行わない。**
アドバンスドライバアシストディスプレイに警告が表示され、正常に作動しない場合があります。
 - アクセルペダルを踏みながら<シフトスイッチ>を押す
 - 前進中に<R>スイッチを押す
 - 後退中に<D/B>スイッチを押す
 - 走行中に<P>スイッチを押す
 - 複数の<シフトスイッチ>を同時に押す

電動パーキングブレーキ

電動パーキングブレーキに関する注意事項

⚠ 警告

- 車両を離れるときは、電動パーキングブレーキをかけたあと、シフトポジションをPに切り替える。
- 非常時以外は、電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。
ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さない。
システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなる場合があります。作動しなくなった場合は、約1分間経過してから再度操作してください。

オートブレーキホールド

オートブレーキホールド機能使用時の注意事項

⚠ 警告

- 急な坂道や滑りやすい路面で使用しない。
オートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。急な坂道などでオートブレーキホールド機能を作動させたとき、運転者にブレーキペダルを踏むよう警告メッセージが表示されることがあります。
- オートブレーキホールド機能が作動していても停止状態を維持できないときは、ブレーキを使用して車両を停車させる。
ブレーキ力保持状態のときに外的要因で車両が動くと、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されることがあります。

運転のしかた

⑤ WEB

- 次の場合はオートブレーキホールド機能をOFFにする。
 - 洗車機を使用するとき
 - 車両にけん引されるとき
 - 車両のけん引時
 - 過積載のとき
- 次の場合はシフトポジションをPにしてパーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。
車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。
 - 駐車するとき
 - 人が乗降するとき
 - 荷物の積み下ろしをするとき
- VDC警告灯 [(A)] (⑤ WEB)、ブレーキシステム警告灯 (黄色) [(C)] (⑤ WEB)、電動パーキングブレーキ警告灯 [(D)] (⑤ WEB)、またはマスターウォーニング [(E)] (⑤ WEB) が点灯し、シャシー制御表示の警告メッセージ (⑤ WEB) が表示されたときは、オートブレーキホールド機能は作動しません。
- オートブレーキホールド機能をOFFにする際は、ブレーキペダルを踏みながら<オートブレーキホールドスイッチ>を押す。
急な坂道では、オートブレーキホールド機能での停止状態からアクセルペダルを踏んでもオートブレーキホールド機能が解除できない場合があります。
- ブレーキペダルから足を離す前に、オートブレーキホールド表示灯 [(F)] (緑色) が点灯していることを確認する。

⚠ 注意

- オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されているときに、オートブレーキホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み。

- ブレーキが解除され車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車両が停止してもブレーキ保持が開始されないときは、オートブレーキホールド表示灯 [(F)] (緑色) が点灯するまでブレーキペダルを踏み込む。
ブレーキペダルが十分な力で踏まれていない、もしくは、車両停止後にブレーキペダルを離すのが早すぎると、オートブレーキホールド表示灯 [(F)] (緑色) は点灯しません。

発進・走行

発進するときの注意事項

⚠ 警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだまま<シフトスイッチ>を操作しない。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 停車中、シフトポジションがP、N以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み。
クリープ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

走行するときの注意事項

⚠ 警告

- 走行中はシフトポジションをNに切り替えない。
回生ブレーキが作動しないため、事故につながるおそれがあります。
- 下り坂ではフットブレーキと回生ブレーキを併用する。
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。

險です。坂の勾配に応じて回生ブレーキを併用してください。

- 回生ブレーキの効きが弱くなった場合は、ブレーキペダルを踏んで減速する。
- 坂道で駐停車するときは、ブレーキを踏んで車両を停止させる。
ブレーキを踏まずにアクセルペダル操作のみで車両を停止させ続けると、走行用モーターが過熱するおそれがあります。停車時にはアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。

停車・駐車

停車・駐車の注意事項

⚠ 警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。
操作部が露出しているガスライターをグローボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスを噴出して火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- 停車中の空ぶかしはしない。
万一、シフトポジションがP、N以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
停車後に再発進するときは、シフトポジションの位置を目で確認してください。
- 換気の悪い場所では、e-POWERシステムを作動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるお

運転のしかた

それがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- 車から離れるときは、必ずシフトポジションをPにして、e-POWERシステムを停止する。

e-POWERシステムが作動したままで、シフトポジションがP、N以外だと、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐車しない。
排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるため注意する。

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ

ハイビームアシスト★の注意事項

⚠ 警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。
 - 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
 - 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
 - カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき

- カメラの向きがずれているとき
- 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたたり、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないもののとき
- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- バンクやけん引などで車両が傾いているとき

アダプティブLEDヘッドライトシステム★の注意事項

⚠ 警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。
 - 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
 - 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
 - カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
 - カメラの向きがずれているとき
 - 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき

- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたたり、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないもののとき
- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- バンクやけん引などで車両が傾いているとき

フォグランプスイッチ★

リヤフォグランプ★の注意事項

⚠ 警告

- 晴天時は使用しない。
後続車の視界を悪くするおそれがあります。

ワイパー・ウォッシャースイッチ

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

⚠ 警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。

運転のしかた

寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転支援機能

ドライブモードセレクター

ドライブモードセレクターの注意事項

⚠ 注意

- 走行中に<ドライブモードセレクター>や画面を注視しない。
前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

e-4ORCE (4WD) 車★の扱い

⚠ 警告

- e-4ORCE (4WD) 車は万能ではないため、走行するときは次のことを必ず守る。
 - 渡河などの水中走行はしない
 - 砂地、ぬかるみなど、車輪が空転しやすいところでの連続走行はしない
 - 脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない

走行のしかた

⚠ 警告

- 急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはない。
タイヤがスリップしたり、横滑りや尻振りなどをおこし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABSに関する注意事項

⚠ 警告

- カーブの手前では十分に減速する。
ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、特に速度を抑え、車間距離を十分に取る。
ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を抑え、車間距離を十分にとって運転してください。
- タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。
ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

VDC (ビークルダイナミクスコントロール)

VDCに関する注意事項

⚠ 警告

- 滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。

この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。

- 次の場合、VDC警告灯【】が点灯し正常に作動しないことがあるため注意する。
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキなどを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。

シャシー制御

⚠ 警告

- インテリジェント トレースコントロール (コーナリング安定性向上システム) の機能を過信しない。
インテリジェント トレースコントロール (コーナリング安定性向上システム) は、すべての走行環境において効果があるわけではないため、機能を過信せず安全運転を心がけてください。

ヒルスタートアシスト

⚠ 警告

- ヒルスタートアシストの機能を過信しない。
凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転を心がけてください。
緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際

運転のしかた

はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。

- 停車するときは、**思わぬ事故につながるおそれがあるため、ブレーキペダルを踏み続ける。**
この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションをPに入れ、パーキングブレーキをかけてください。

車両接近通報装置

警告

- 車両接近通報装置の音が聞こえないときは、**日産販売会社で点検する。**
車両接近通報装置の音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか確認してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションをRにし、窓を開けて音が聞こえるか確認します。車両前方から音が聞こえないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

走行支援機能

走行支援機能

警告

- 走行支援機能は、自動で運転する装置ではありません。運転者は交通法規を遵守し、常に周囲の状況に注意して運転してください。道路・交通・自車の状況に応じてハンドル、ブレーキ、アクセルを確実に操作し、安全な運転を行う責任があります。性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

- レーダー、カメラ、ソナーの性能には限界があります。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。



プロパイロット

プロパイロットに関する注意事項

警告

- プロパイロットは自動で運転する装置ではありません。また、**脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。**
運転者はシステムを過信せず、常に周囲に注意し、道路・交通・自車の状況に応じて確実にハンドル、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作して、安全な運転を行う責任があります。
- プロパイロットは高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。
一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがあるため使用しないでください。
- プロパイロットは同一方向に走行する車両を検出し、車間距離を保つようアクセル、ブレーキを制御します。
対向車両、前方を横切る車両、車線外（路肩など）にいる車両、歩行者、自転車、工事用のパイロン、落下物などの車両以外のものに反応しません。
- プロパイロットは車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方から車両が近づいてきても反応しません。
交通法規を遵守する責任は運転者にあります。走行している地域や道路の交通法規を遵守し、安全な走行を行ってください。
- プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行す

るとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカに近づいたりすることがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。

- プロパイロットを解除せずに降車しないでください。
車両を停止し続ける能力をもっていません。降車する場合は＜プロパイロットスイッチ＞を押してシステムをOFFにし、シフトポジションをPに切り替え、電動パーキングブレーキを作動させてください。
- 次のような状況では適切な制御ができず、**思わぬ事故につながるおそれがあるため使用しないでください。**
 - ー 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行しているとき
 - ー 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - ー 急カーブや曲がりくねった道を走行しているとき
 - ー 急な上り坂、下り坂を走行しているとき
 - ー 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき
 - ー 料金所を通るとき
 - ー タイヤの空気圧が適正ではないとき
 - ー 摩耗しているタイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - ー 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
 - ー レーダー部に雪、氷、泥などの付着物があるとき
 - ー マルチセンシングフロントカメラおよびその前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、泥などの付着物があるとき

運転のしかた

- マルチセンシングフロントカメラおよび、その前方のフロントガラスにくもりや結露があるとき
- レーダー、カメラ、ソナー、GPSアンテナ★の機能を妨げるものを取り付けたとき
- 極端に重い荷物を積んでいるとき
- けん引されているとき

システム構成

⚠ 警告

- プロパイロットは次のような障害物には反応しません。
 - 歩行者、動物など
 - 落下物
 - 工事などで設置されるパイロンなど
 - 特殊な形状をした車両
- 次のような状況では先行車の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に前方の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルやハンドルを操作してください。
 - 前方に急な割り込みがあったとき
 - 停止車両など自車速よりも極端に遅い車両がいたとき
 - 見通しの悪いカーブを走行しているとき
 - 前方に車線の端を走行する二輪車がいるとき
 - 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
 - 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
 - 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
 - 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
- 次のような状況では正しくレーンマーカーの検出ができず車線変更支援機能（ハンドル支援）、車線維持機能が使用できないことがあります。
 - レーンマーカーが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき

- レーンマーカーが路面の色と似ており見えにくいとき
 - レーンマーカーが多重に描かれているとき
 - 消されたレーンマーカーが、まだ薄く残っているとき
 - 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
 - 料金所や交差点手前などでレーンマーカーが大きく変化しているとき
 - 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
 - 停止禁止部分、または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
 - 出口路、分岐路など車線数が増えるとき
 - 濡れているまたは水たまりのある路面を走行しているとき
 - 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているとき
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
 - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - トンネルの出入り口や日陰など急に明るさの変化が起こったとき
 - 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
 - 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき
- 次のような状況では隣の車線の車両の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に周囲の状況に注意し、必要に応じてハンドルを操作してください。
 - 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両が走行しているとき
 - 後方から速い速度で接近してくる車両が走行しているとき

- 後方から近づいてくる車両が車線変更などにより隣の車線に移動したとき
- 自車や周囲の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- 悪天候のとき（雨、霧、雪など）

- フロントレーダー、サイドレーダーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはレーダーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に周囲に注意して走行してください。またフロントレーダー、サイドレーダーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

🔗 WEB

- フロントカメラの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはフロントカメラが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に前方に注意して走行してください。またフロントカメラおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

🔗 WEB

運転のしかた

プロパイロットの使いかた

■ 車間距離設定のしかた

⚠ 警告

- プロパイロットは脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転を心がけてください。

■ 一時的に加速、減速をしたいとき

⚠ 警告

- アクセルペダルを操作して加速しているときは、ブレーキ制御、接近警報を行いません。通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

■ プロパイロットの解除のしかた

⚠ 警告

- プロパイロットをOFFにせずに降車しないでください。降車する場合は<プロパイロットスイッチ>を押してシステムをOFFにし、電動パーキングブレーキを作動させ、シフトポジションをPにしてください。

システム作動

⚠ 警告

- 運転者は周囲の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルを操作してください。車速・車間制御機能で停止したあと、前方に車両が割り込んできた場合、位置や車両の向きによっては検出することができず、先行車が発進すると自車も動き出し割り込んできた車両に接近するおそれがあります。

車線維持機能（ハンドル支援）について

⚠ 警告

- 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方の車両が近づいても反応しません。
- 手放し運転はしない。

定速制御機能について

⚠ 警告

- 定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作の支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。
- レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。
➡ WEB

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような障害物は検知しません。
 - ー 子供などの背の低い人、動物
 - ー 対向車両
 - ー 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者、人が乗車している自転車以外の障害物）
- システムは車両の後端を認識するため、次の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - ー バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両

- 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
- 前方を横切って通過する車両
- 斜めもしくは対面で止まっている車両
- 次のような場合は、**前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車を検知できないことがあります。**
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーのふき残しがあるとき
 - カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
 - 前方から強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - カーブを走行しているとき
 - 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - 太陽光などが前方車両から強く反射しているとき
 - 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
 - e-POWERシステムを始動してから約15秒間

- e-POWERシステム始動後、走行してからインテリジェントエマージェンシーブレーキシステムが1回も障害物を検知していないとき
- カメラの視界が遮られているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラの向きがずれているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 子供用の自転車、大きな荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、または特殊形状の自転車（チャイルドシート装着車・タンデム自転車など）

● 次の例のような周辺状況では**対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**

- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
- 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにある場合
- 対象物が路面の水たまりの付近にある場合（周りの風景が水たまりに映り込むなど）
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

● 次の対象物には**システムが作動しない場合があります。**

- 歩行者、人が乗車している自転車の移動速度が速いとき
- 対向して接近する歩行者、自転車
- 歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているなど）により、歩行していると特定できないとき
- 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者

- 車高の低い車両または最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者、自転車
- 自車の正面から横にすれた位置に存在する車両や歩行者、人が乗車している自転車
- 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両（二輪車など）
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- ショッピングカート、ベビーカー、自転車などを押しているとき

● 次の例のような場合、**衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。**

- 複数の対象物同士が近接している場合
- 衝突するおそれのある対象の二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいない場合

● 外部の騒音などにより、**警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

● 次のような場合は、**システムが機能を十分に発揮できないことがあります。**

- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 勾配のある路面を走行しているとき
- 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
- 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
- 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タ

運転のしかた

イヤ、日産純正品以外のタイヤ、日産販売会社以外で購入したタイヤを使用しているとき

- タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 車両が傾いているとき（車両後部に極端に重い荷物を積んでいるとき）

- 路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示、濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、道路脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板）などで構成される形状が、車両や歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。

- 右左折中の先行車にシステムが作動を継続する場合があります。

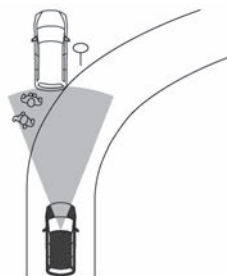
- 前の車両に接近し追い越す場合、システムが作動する場合があります。

- 道路形状（カーブ、カーブの出入り口、ワインディング、車線規制や工事中など）によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。

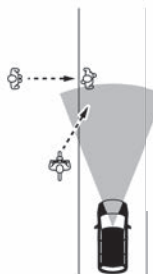
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。

- 次のような物に反応し、システムが作動する場合があります。

- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、自転車、人が乗車している自転車、車両など）



- 道幅が狭い路地などを走行する際の歩行者・人が乗車している自転車
- 路肩の障害物を避けるため、一時的に自車前方の走行レーンにはみ出したり、近づいたりする歩行者や人が乗車している自転車

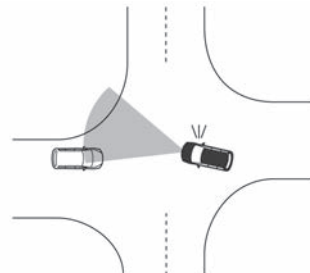


- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行車線または隣接する車線の歩行者、車両など
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる歩行者、車両など
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物（近接する樹木など）

交差点支援（右左折）★について

- 交差点支援（右左折）は次のような障害物を検知しません。

- 自車正面の対向車両

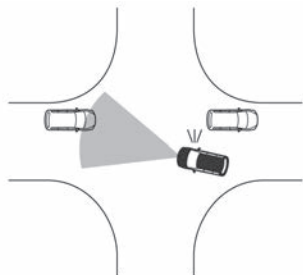


- 次の場合、交差点支援（右左折）が正しく作動しないか、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。

- 対向車から2車線以上離れた車線を走行しているとき
- 対向車が自車の正面から大きく外れているとき
- 対向車線を横断しているときに、対向車が接近してきたとき



- 急カーブを曲がるとき
- 中央線を認識していないとき
- 対向車が連続しているとき



- 車線幅が極端に広いもしくは狭いとき
- 中央線が道路標示の近くにあるとき
- 次の場合、衝突のおそれがあるとシステムが判断し、交差点支援（右左折）が作動する場合があります。
 - 対向車または横断歩行者が前方を通過したとき
 - 対向車または横断歩行者の手前を通過しようとしたとき
 - 対向車または横断歩行者が自車の進路に入る手前で停止したとき
 - 対向車が自車の前方で右折または左折したとき
- 次のようなものに反応し、交差点支援（右左折）が作動する場合があります。
 - 急ハンドルや急減速などで、動きが予測できない対向車

交差点支援（出会頭車両）★について

- 次の場合、交差点支援（出会頭車両）は車両を検知できない場合があります。
 - 車両の全長が長い場合（大型トラック、トレーラーなど）
 - 車両が構造物や他の車両によって隠れている場合
- 次の場合、交差点支援（出会頭車両）は、車両が接近していなくても作動する場合があります。
 - 壁、ガードレール、または他の車両など、電波を反射する物体が自車に近い場合

- 車両の上を横切る物体がある場合（高架道路など）

踏み間違い衝突防止アシスト

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違えにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。
- ソナーやマルチセンシングフロントカメラ、インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ（リヤビューカメラ）★の性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。



踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項

⚠ 警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。
車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。また、低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。
— けん引するとき

- トレーラーなどに積載するとき
- 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
- 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
（車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります）
- センサーを妨げるようなバイクラックなどを装着しているとき

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停車してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。

⚠ 注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

BSW（後側方車両検知警報）★／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）★

システムに関連する表示

警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
BSW（後側方車両検知警報）およびインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防いだりする機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。
- レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

② WEB

作動するとき・しないとき

注意

- 車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。
自車より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）に関する注意事項

警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるためインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）を使用しないでください。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
 - 日産純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。
 - 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
 - 停車状態から検知範囲に居続ける車両
 - 後方から速い速度で接近してくる車両
 - 自車が速い速度で追い越した車両
 - 合流や車線変更で自車の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両
- 次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。
 - 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
 - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき

- 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - 検出にくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
 - 急なカーブのある道路を走行するとき
 - 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
 - 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御したりする場合があります）
 - 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
 - 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
 - 先行車との車間距離が短く、マルチセンシングフロントカメラの検出範囲が遮られるとき
 - 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
 - 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
 - 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
 - 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリ類の取り付け、追加の塗装をしないでください。

運転のしかた

車両を検知する性能が低下するおそれがあります。

⚠ 注意

- レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。
 - 歩行者、自転車、動物など
 - 対向車

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転を心がけてください。
- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。
➡ WEB

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）を使用しないでください。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
 - 日産純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
 - 急なカーブのある道路を走行するとき
 - 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
 - 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります）

- 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
- 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
- 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

システムに関する表示

⚠ 警告

- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行います。衝突を回避する機能はありません。
- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。前方の車両との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。
- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。
➡ WEB

インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような障害物は検知しません。
 - 歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
 - 対向車
 - 前方を横切って通過する車両
- 次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - トンネル内を走行しているとき
 - 前方の車両がけん引を行っているとき



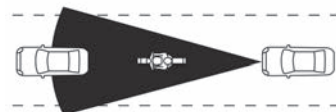
- 前方の車両との距離が極端に近いとき



- 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき



- 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は警報を行わないことがあります。



- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

RCTA（後退時車両検知警報）★

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
RCTA（後退時車両検知警報）は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。
- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

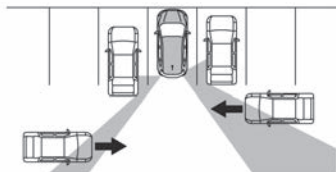


WEB

RCTA（後退時車両検知警報）に関する注意事項

警告

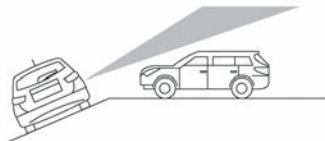
- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。
 - 歩行者、自転車、動物、児童用の玩具の車など
 - 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - 約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。
 - 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき



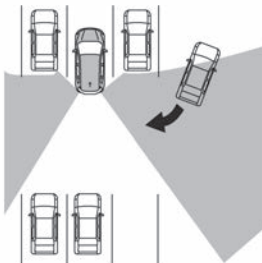
- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



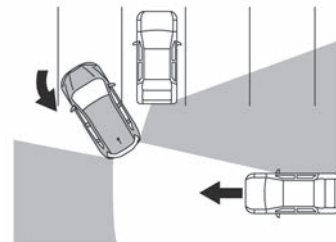
- 傾斜した地面に駐車しているとき



- 回り込むようにして自車後方へ車両が接近してきたとき



- 接近してきた車両の向きが、自車の向きと同じまたはそれに近いとき



- 次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがあるため、システムを使用しないでください。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー付近に付着しているとき
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリ類の取り付け、追加の塗装をしないでください。
車両を検知する性能が低下するおそれがあります。

運転のしかた

インテリジェント DA (ふらつき警報)

システムに関連する表示

警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故にいたる危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転を心がけてください。

標識検知機能

システムに関連する表示

警告

- 走行中は運転者の責任で実際の標識を確認する。
標識検知機能は、運転者の安全運転を支援する機能です。
標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。
 - マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。
- WEB

標識検知機能に関する注意事項

警告

- 次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できなかったりすることがあります。
 - ― 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - ― カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界が遮られているとき
 - ― カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
 - ― 前方から強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき
 - ― 前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき
 - ― トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - ― 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - ― 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - ― 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - ― 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - ― 隣を走る車で視界が遮られているとき
 - ― 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
 - ― 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
 - ― 標識が自転車から遠く離れた位置にあるとき
 - ― 夜間で標識に自転車のヘッドランプの光が届きにくい位置にあるとき
 - ― 標識が色あせたり、折れ曲がったりしているとき
 - ― 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
 - ― 標識が泥、雪、または霜などで覆われているとき

- ― 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
- ― 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
- ― 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
- ― 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
- ― 標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
- ― カメラの向きがずれているとき
- ― 始動してから約15秒間は標識を検知しません
- 次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識がないのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）
 - ― 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
 - ― 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物、案内標識上の数字など）
 - ― 自転車の路線に対しての標識ではないが、自転車の路線付近にあり、その標識が自転車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時停止標識や最高速度標識など）



運転のしかた

- コントラストが低い電光標識
- 数字が認識しにくい電光標識（遠く離れた位置にある標識、3桁の標識など）
- 標識の近傍に補助標識（区間の始まり、終わり、曜日、時間など）があるとき



- 工事などの通行規制区間に標識があるとき

先行車発進お知らせ

システムに関連する表示

⚠ 注意

- 先行車との車間距離や周囲の状況を目視で直接確認し、常に安全運転を心がけてください。

駐車支援システム

バックビューモニター★

バックビューモニターについて

⚠ 警告

- バックビューモニターの機能を過信しない。

バックビューモニターは、後退操作を補助するシステムです。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら運転してください。

- **実際の距離感を間違えないように注意する。**
バックビューモニターの映像はレンズの特性により、画面に映る人や障害物の感覚が実際の位置や距離と異なります。

バックビューモニター★の注意事項

映し出す範囲

⚠ 注意

- バックビューモニターだけを見ながら後退しない。
絶対に画面の映像だけを見ながら後退しないください。映像と実際の状況は異なることがあるため、車をぶつけたり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。後退するときは、後方や周囲の安全を目視やミラーなどで直接確認してください。

インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付）★

インテリジェントアラウンドビューモニターについて

⚠ 警告

- インテリジェントアラウンドビューモニターの機能を過信しない。
インテリジェントアラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の

安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。

- **実際の距離感を間違えないように注意する。**
インテリジェントアラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

インテリジェントアラウンドビューモニターの使いかた

⚠ 警告

- ドアミラーを格納した状態で使用しない。
適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

画面表示に関する注意事項

⚠ 警告

- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせ処理した疑似的な映像のため、トップビューは、障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されなかったりすることがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。

運転のしかた

- 路上の線は映像の継ぎ目ですれたり、曲がって見えたりすることがあります。すれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。
- 3Dビューに表示される障害物までの距離は、実際の距離とは異なります。

移動物 検知機能について

⚠ 注意

- 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

ソナー機能について

⚠ 警告

- バンパーにへこみなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 日産純正品以外のバンパーを取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。
- ソナーの性能には限界があるため、システムだけに頼らず、常に安全を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡ WEB

⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - ー 背の低い障害物

- ー 幅の狭い障害物
- ー 針金、金網、ロープなどの細い障害物
- ー ソナーに非常に近い障害物
- ー 急に進行方向に現れた障害物

- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。

- ー 地面から高い位置に存在する障害物
- ー スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物

- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。

- ー 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサー部や周辺に付着しているとき
- ー 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- ー 周囲に草が生い茂っているとき
- ー 車両側面の近くに壁があるとき
- ー 路面上に段差や突起物があるとき
- ー 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- ー 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- ー 周囲で大きな音が鳴っているとき
- ー 車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
- ー 炎天下や寒冷時
- ー 表面が一樣でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸な形状の場合）

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があったりしてもソナーが検知しないことがあります。（氷が解ければ、正常に復帰します）
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

インテリジェントアラウンドビューモニター★に関する注意事項

⚠ 警告

- カメラの作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けしないでください。字光式ナンバープレートやナンバープレートリムを装着すると、フロントビューおよびリヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。

➡ WEB

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。
- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。

ソナーシステム（インテリジェントアラウンドビューモニター無車）

ソナー機能について

⚠ 警告

- バンパーにへこみなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 日産純正品以外のバンパーを取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。
- ソナーの性能には限界があるため、システムだけに頼らず、常に安全を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡ WEB

⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - ソナーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。

- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサー部や周辺に付着しているとき
- 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- 周囲に草が生い茂っているとき
- 車両側面の近くに壁があるとき
- 路面上に段差や突起物があるとき
- 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- 周囲で大きな音が鳴っているとき
- 車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
- 炎天下や寒冷時
- 表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸な形状の場合）
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもソナーが検知しないことがあります。（氷が解ければ、正常に復帰します）
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

室内装備

収納装備

グローブボックス

グローブボックスの使いかた

⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
ブレーキをかけたときに、収納した物が飛び出したり、ふたに当たったりするなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

センターコンソールボックス

センターコンソールボックスの使いかた

⚠ 注意

- センターコンソールボックスを開けたままにしない。
開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

ロアコンソールトレイ

ロアコンソールトレイについて

⚠ 注意

- ロアコンソールトレイに飛び出すおそれがあるものを置かない。
急ブレーキ時や衝突時に物が飛び出し、思わぬケガをするおそれがあります。

カップホルダー/ボトルホルダー

カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

⚠ 警告

- 運転中に飲物を出し入れしない。
運転中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。
- ビンなどの硬いものは入れない。
側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 熱い飲物を置かない。
熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。
- 飲物をこぼさないように注意する。
飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- 車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。
故障や火災のおそれがあります。

オーバーヘッドコンソール★

オーバーヘッドコンソールの使いかた

⚠ 警告

- 炎天下で駐車するときは、サングラス、メガネ、ライターなどを入れたままにしない。

炎天下での駐車は大変高温になるため、サングラスやメガネが変形したり、ライターが爆発したりするおそれがあります。

⚠ 注意

- オーバーヘッドコンソールを開けたまま走行しない。また、重いものを入れない。
収納物が落下して思わぬケガをするおそれがあります。開閉は停車中に行い、重いものを入れないでください。

その他の室内装備

先進事故自動通報システム★

先進事故自動通報システムの使いかた

⚠ 警告

- <SOSコールスイッチ>を押すときは、安全な場所に停車してから行う。
走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- SOSコールは無線通信機能を利用しています。心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を使用している場合は、当該の医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波の影響について必ず確認してください。

ドライブレコーダー★

microSDカードについて

⚠ 警告

- microSDカードはお子さまに触れさせない。

室内装備

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害につながります。また最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ヒーターシート★

⚠ 注意

- 長時間の連続使用はしない。
低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。

電源ソケット

電源ソケットの使いかた

⚠ 警告

- 電源ソケットを使うときは、次のことを守る。
電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
- 複数の電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんの機器を接続しないでください。
- 消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入してください。
- 使用中や使用後はソケットやプラグの取り扱いに十分注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。

— ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。

USB電源ポート

USB電源ポートの使いかた

⚠ 警告

- SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- ➡ WEB
- USB電源ポートを使用するときは、次のことを守る。
USB電源ポートの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- 複数のUSB電源ポートを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
- 消費電力15W以下のものを使用する
- ケーブルはしっかり奥まで挿入する
- ポートに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
- ポートの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

⚠ 注意

- モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。
運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

100V AC電源 (1500W) ★

100V AC電源 (1500W) について

⚠ 警告

- 換気の悪い場所では、100V AC電源 (1500W) を使用しない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- 駐停車中に100V AC電源 (1500W) を使用するときは、シフトポジションを確実にPに切り替え、パーキングブレーキをかける。
万一シフトポジションがP以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お客さまが接続される電気製品の取扱説明書や製品に記載の警告・注意事項を守って使用する。
火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。
- 故障した電気製品や破損した電源プラグ、水没や浸水した、またはそのおそれのある電気製品は使用しない。
火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。
- 電気製品は確実に固定する。また、調理機器などは、内容物を入れたまま走行しない。
振動・急停止などにより電気製品が転倒・落下したり、内容物が飛び出したりするおそれがあります。
- アース線のある電気製品を使用するときは、アース端子を備えたコンセントにプラグを差し込み、アース線をアース端子に接続して使用する。

室内装備

- 使用する電気製品のプラグ形状と車両側のコンセント形状が一致しない場合は、市販の変換アダプターを使用してアース線を接続する。

⚠ 注意

- お子さまだけで100V AC電源 (1500W) のコンセントを触らせない。
- 車室内で蒸気が出る電気製品を使用しない。
窓ガラスがくもり、運転する際に視界を妨げるおそれがあります。

100V AC電源 (1500W) の使いかた

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電するおそれがあります。
- コンセントに水がかからないようにする。
感電するおそれがあります。
- コンセントに金属製の鋭利なもの（ピン・針金など）を差し込まない。
感電するおそれがあります。
- 100V AC電源 (1500W) の分解・修理・改造をしない。
感電するおそれがあります。
- 車外で電気製品を使用しているときに、雷が鳴ったらすぐに電気製品の使用を中止してコンセントから抜く。
感電、火災のおそれがあります。
- 100V AC電源 (1500W) を家屋内のコンセントや配電盤などに接続し、電気を供給する電源として使用しない。

⚠ 注意

- 100V AC電源 (1500W) を使用するときは、車両から離れない。

- e-POWERシステム警告灯が点灯しているときは100V AC電源 (1500W) を使用しない。
- 100V AC電源 (1500W) をONにするときは、接続する電気製品の電源がOFFになっていることを確認する。
電源がONになっていると、電気製品が突然作動するおそれがあります。
電気製品の電源スイッチがないものについては、先に100V AC電源 (1500W) をONにしてからコンセントに接続してください。
- 車室内で電気製品を使用するときは、落下や転倒などないように安定した場所で使用する。
ケガをするおそれがあります。
- 100V AC電源 (1500W) のコンセントを使用して、電気自動車やプラグインハイブリッド車などへの充電はしない。
- 接続する電気製品のプラグを、確実にコンセントの根元まで挿入して使用する。
- 100V AC電源 (1500W) を使用して、車外で電気製品を使用する場合は、ドアや窓にコードを挟まない。
- 100V AC電源 (1500W) を使用しない場合は、コンセントのふたを閉める。
コンセントにゴミ、ほこりがたまりとショートするおそれがあります。
- コンセントに電気製品のプラグを差し込んだときに、緩いと感じた場合は日産販売会社に問い合わせる。
- タコ足配線をつけない。
- ACアダプター付プラグを直接コンセントに取り付けない。
ACアダプターの重さにより、プラグが抜けかかり、場合によっては発熱のおそれがあります。

ワイヤレス充電器★

ワイヤレス充電器の使いかた

⚠ 警告

- 充電エリアとスマートフォンの間にコインなどの金属物を置かない。
車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD)、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
ワイヤレス充電器の電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- 充電中はスマートフォンに布などをかぶせない。
車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- スマートフォンが濡れた状態で充電しない。
故障、火災または感電のおそれがあります。
- 充電中は金属物やインテリジェントキー、メモリードライブなどを充電エリア内に置かない。
- 充電エリアに水や飲物などの液体をこぼさないように注意する。
故障、火災または感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- 充電エリアにほこりや汚れが付着した状態で使用しない。
- 充電エリアの表面を叩かない。
- 充電エリアの清掃にはグリース、オイル、アルコールを使用しない。

フロアカーペット

固定のしかた

⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。
フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。
 - ー 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
 - ー フロアカーペットでペダルを覆わない。
 - ー フロアカーペットを重ねて敷かない。
 - ー 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
 - ー フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返しにしたりして使用しない。
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- 運転に支障がないことを確認する。
運転する前、＜パワースイッチ＞がOFFの状態でごペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。
- タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。
火災につながるおそれがあります。

アシストグリップ

アシストグリップの使いかた

⚠ 注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしない。
アシストグリップは、走行中などシートに座った状態で身体を支えるために使用してください。乗降用ではないため、手をかけて乗り降りしないでください。万一、アシストグリップが外れた場合は、思わぬケガをするおそれがあります。

MEMO

メンテナンスの前に

点検整備について	P.110
----------	-------

工具・ジャッキ

工具★・ジャッキ★について	P.111
---------------	-------

点検と整備

エンジンルーム	P.114
ウォッシュ液の補給	P.116
寒冷時の取り扱い	P.116
タイヤ	P.117
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.119
ワイパー	P.120
インテリジェントキーの電池交換	P.121
12Vバッテリー	P.122
エンジンオイル	P.123

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.124
内装のお手入れ	P.128

サービスデータ

点検値	P.130
交換油脂類	P.130
車両仕様	P.133
イベントデータレコーダ（EDR）	P.134
車両状態記録機能	P.135

点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。
- **日常点検**
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がいたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水漏れ、油漏れなど）
- **定期点検**
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。
- **その他の点検**
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

工具・ジャッキ

工具★・ジャッキ★について

ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

車両の仕様変更または装備変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

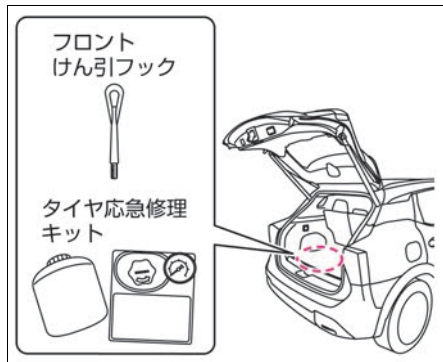
工具、タイヤ応急修理キットの格納場所

⚠ 注意

- 工具を使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（🔥WEB）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- 工具・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルーム内のラゲッジボードの下に格納されています。

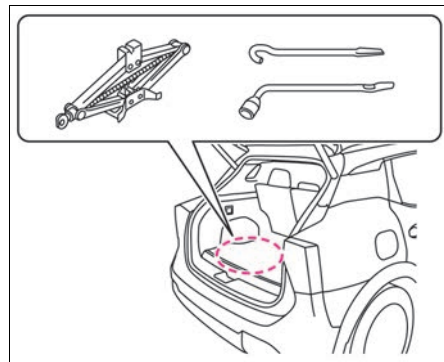
🔥WEB



ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーの取り出し（ディーラーオプション）

⚠ 注意

- ジャッキを取り出すときは、手をぶつけないように注意する。
金属部などに手をぶつけると、ケガをするおそれがあります。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。
- この車両には、ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーはラゲッジボードを持ち上げて取り出します。



🚗 アドバイス

- ジャッキとフロアカバーが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。
- ジャッキを格納場所の下に落とさないようにしてください。周辺部品を壊してしまうおそれがあります。ジャッキを誤って落としたときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ジャッキの使いかた

⚠ 警告

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれが非常に危険です。

⚠ 注意

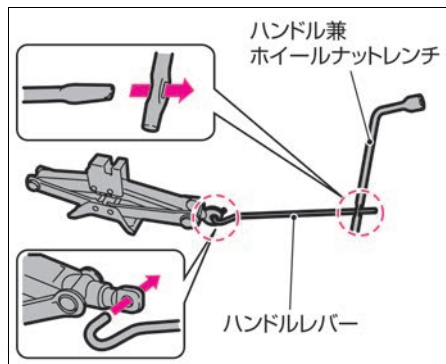
- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。

工具・ジャッキ

車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ハンドル兼ホイールナットレンチを回すときは、ハンドルレバーをしっかりと握って回す。
ハンドルレバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ハンドルレバーは、確実にハンドル兼ホイールナットレンチの穴に差し込む。ハンドルレバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキアップ中はe-POWERシステムを始動しない。
車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

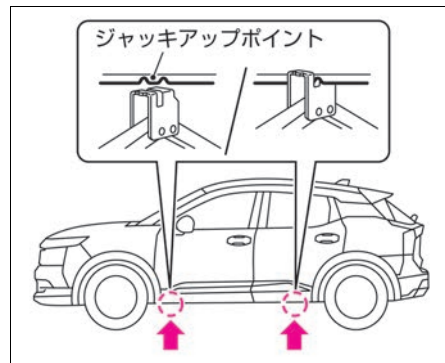
- ジャッキにハンドルレバーとハンドル兼ホイールナットレンチをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。



ジャッキアップポイント

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。
 - ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使用しないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使用しないでください。
 - ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
 - 平坦で使いところに駐車して作業してください。
 - 使用前にパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてください。
 - 輪止めなどで車を固定してください。
 - ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - 人や荷物は必ず車から降ろしてください。



🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。
車体に変形するおそれがあります。

ジャッキアップのしかた

⚠ 注意

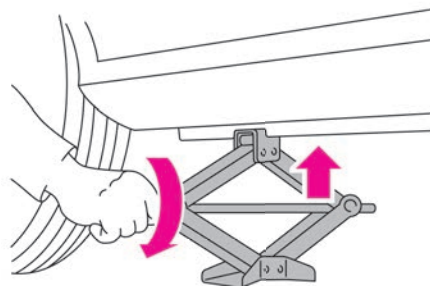
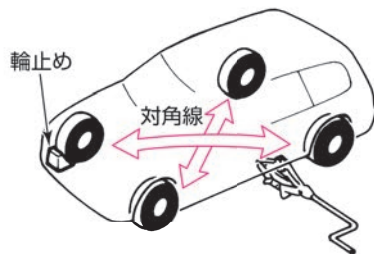
- 柔らかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむをえず傾斜地で作業するときは、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。
- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

工具・ジャッキ

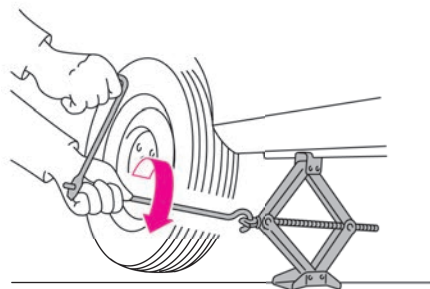
1. 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

➡WEB

2. ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
前輪をジャッキアップするとき：後輪の後側
後輪をジャッキアップするとき：前輪の前側



4. ハンドル兼ホイールナットレンチを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。

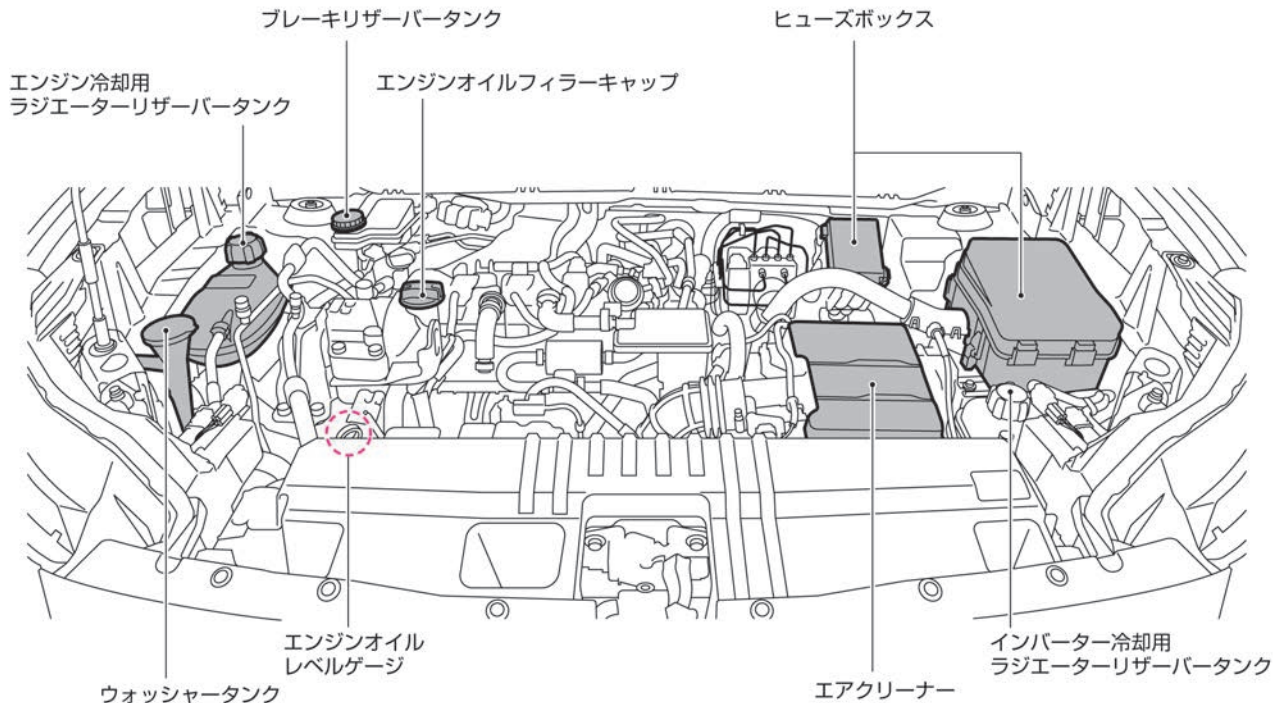


3. ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。

エンジンルーム

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図



点検と整備

⚠ 警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。故障や車両火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンルーム内の作業をするときは、<パワースイッチ> をOFFにする。
e-POWERシステム作動中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

⚠ 警告

- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。
ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

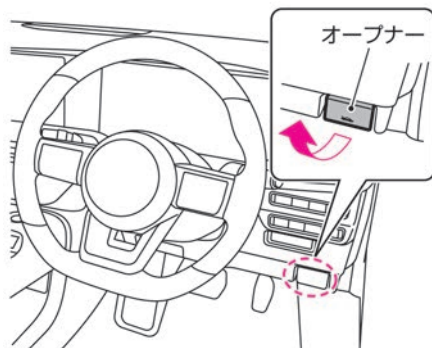
⚠ 注意

- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持つ。

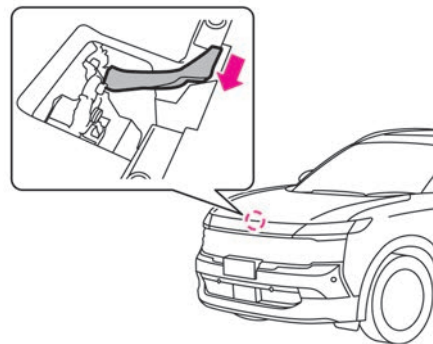
e-POWERシステム停止直後はステアが高温になることがあるため、やけどをするおそれがあります。

- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。

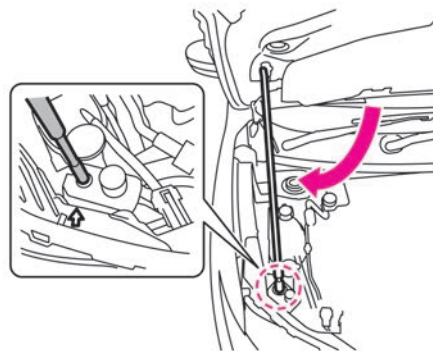
1. 運転席の右下にあるオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



2. ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



3. ボンネット裏側に付いているステアの操作部を持ってフックから外し、車体の穴（ステア差し込み位置）に確実に差し込みます。



4. 閉めるときはステアをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロッ

点検と整備

クでできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとしてはいけません。

アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

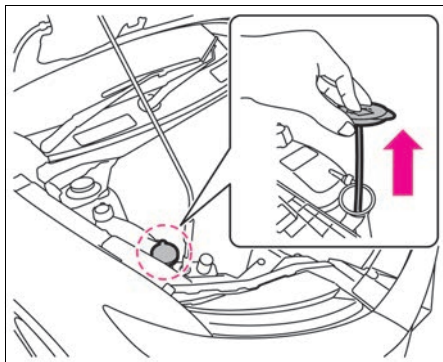
ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。
出火するおそれがあります。
- フロントワイパーとリアワイパーのウォッシャータンクは兼用です。
- ウォッシャータンクのふたの穴を押さえて引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が確認できます。
- ウォッシャー液の残量を確認したとき、ウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。



- 日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。
ウォッシャータンク容量については、
 WEBをお読みください。
- 減っているときは、ウォッシャータンクのふたを開け、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

寒冷時の取り扱い

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
30%	約-15℃
50%	約-35℃

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

 WEB

アドバイス

- 寒冷地仕様車およびe-4ORCE（4WD）車の冷却水は工場出荷時に50%にしています。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ 12Vバッテリーの液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノート「日常点検のしかた」をお読みください。

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

運転する前に

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落とす。
窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- 寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があります。無理に動かしたりせず、ドアミラー本体にぬるま湯をかけて凍結を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品を破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷したりするおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。
- ドアミラーが凍結するような寒冷時は、ドアロック連動格納機能をOFFにしてください。凍結したまま作動を繰り返すと、故障の原因となります。
- ルーフから雪を落とすときは、アンテナやカメラ類の周りに強い力をかけないようにしてください。アンテナやカメラ類が破損したり、車体がへこんだりするおそれがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

➡ WEB

- 雪道を走行するときは、e-4ORCE（4WD）車はドライブモードセレクター（➡ WEB）をSNOWに切り替えます。

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- シフトポジションをPにし、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

タイヤ

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。

日常的に点検を行ってください。

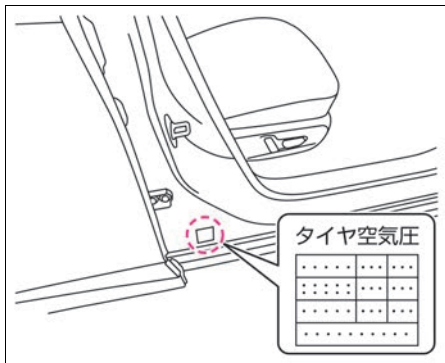
タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開閉部に表示してあります。



- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認するこ

とが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。

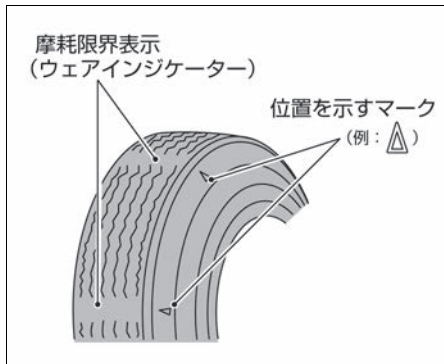
- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割上がることがあります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。



タイヤ・ロードホイールを交換するときは

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

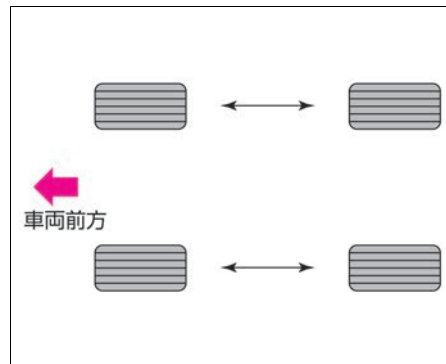
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイールには荷重制限があるため、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。
- バルブキャップは工具などを使用して締め付けると、破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m (11kg・m) です。

タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

タイヤに関する注意事項

警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。
気温や高度の変化により、タイヤの空気圧は変化します。タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト

（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 5～7年を目安に必ず点検する。
タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。
- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けけない。
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。
特にe-4ORCE（4WD）車は、径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。
 - 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- 著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。

車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

注意

- タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。
- 冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。
- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、＜パワースイッチ＞をOFFにして作業してください。
 - タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。e-4ORCE（4WD）車も前2輪に装着してください。
 - タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。

点検と整備

- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
- お客様のタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
- タイヤチェーンはお客様の車に適合した日産純正品をおすすめします。
- 適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、e-4ORCE (4WD) 車は車の性能が十分に発揮できなくなる場合があります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパー

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。

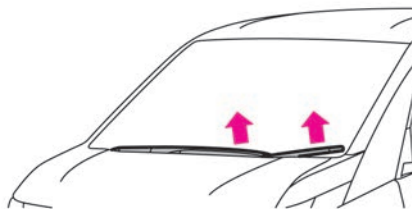
定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

ワイパーブレードの交換のしかた

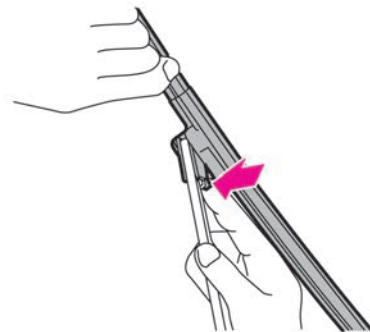
注意

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう注意する。
ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
- リヤワイパーブレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。

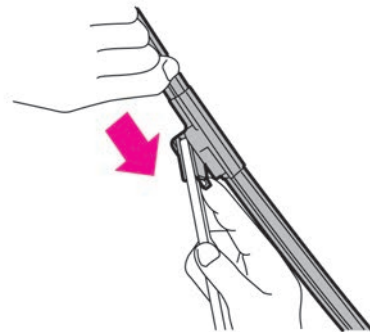
1. ワイパーアームを起し、ワイパーブレードを少し傾けます。



2. ワイパーブレードのツメを押したままにします。



3. ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。



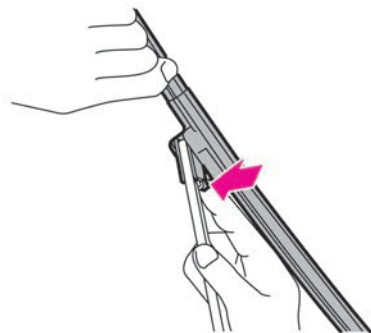
4. 新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。

🚗 アドバイス

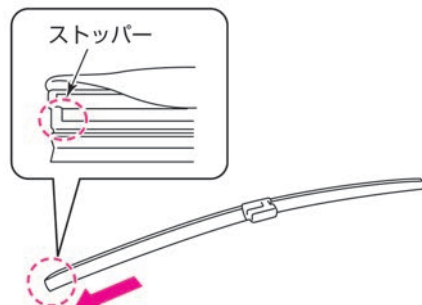
- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

ワイパーゴムの交換のしかた

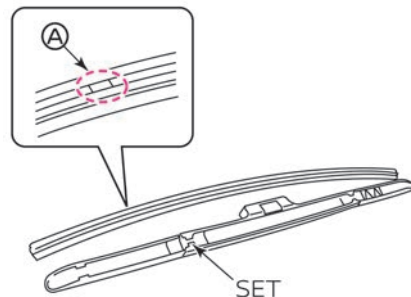
- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。
1. ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。



2. ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。ワイパーゴムの①部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



インテリジェントキーの電池交換

キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。

次の手順に沿って、電池を交換してください。

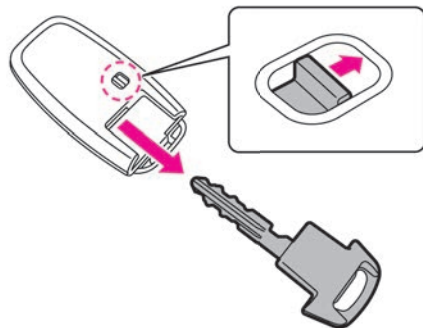
電池交換のしかた

⚠ 警告

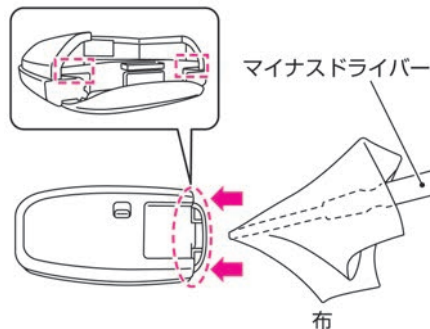
- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
インテリジェントキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 電池を飲み込んだり、体内に入れてしまった場合は、ただちに医師の診察を受ける。

⚠ 注意

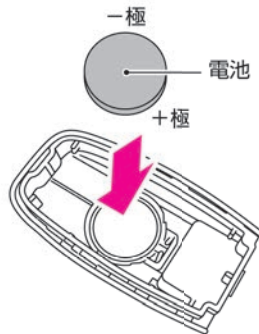
- カバーがしっかりと閉まらない場合は、インテリジェントキーの使用を中止する。
インテリジェントキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
1. キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。



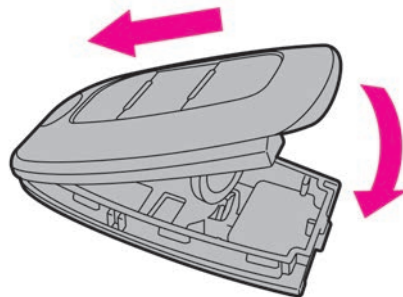
2. 左右のすき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。(カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください)



3. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。(新しい電池は、+極を下にして取り付けてください)
使用電池：CR2032



4. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。



🚗 アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。

- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリー

12Vバッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーに関する注意事項

⚠ 警告

- **12Vバッテリーを充電するときは換気を十分にいき、火気は近づけない。**
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。**
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**

点検と整備

接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

- **12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

エンジンオイル

エンジンオイルの交換時期は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

また、指定のエンジンオイルについては、

🔗 WEBをお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項

⚠ 注意

- **オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。**
オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが噴き出し火災の原因になるおそれがあります。
- **エンジンオイルフィラーキャップは確実に閉める。**
走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。



アドバイス

- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ばい煙、虫の死がいや鳥の糞、樹液、鉄粉、コールトールなどが付着したとき
 - 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ほこり、汚れがひどいとき

■ 水洗いするときは

- 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- はん点が残らないように水をふき取ります。

洗車時の注意



注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- エンジンルームを水で洗ったり、洗剤やワックスなどを直接スプレーしたりしない。

エンジンの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。

水や洗剤、ワックスなどの製品、もしくはその他シリコンを含む製品を使用する場合は、布に塗布してからエンジンルームをふいてください。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ペンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車機を使うときは

- ドアミラーを格納してください。
 WEB

- 燃料補給口のリッドを完全に閉めた後、ドア（リッド）を施錠してください。施錠せずに洗車すると、意図せずリッドが開いて車体およびリッドを損傷するおそれがあります。



- 高圧洗浄機を使用するときは、高圧ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。高圧ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。

アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めたりすることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- 洗車機の種類によってはスポイラーが引っ掛かり、洗車できないことがあります。
- アンダーカバーを外した状態で高圧洗浄機を使用しないでください。電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 高圧洗浄機を使用するときは、シャークフィンアンテナのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。シール部が変形、破損するおそれがあります。

ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

アルミホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけたりするおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

軽い補修のしかた

- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺以外は、塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
 - フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺はタッチアップペイントを含め塗装修理はできません。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。
- ➡ WEB

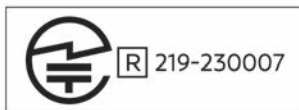
レーダーセンサー／カメラ類の取り扱い注意

⚠ 警告

- センサー、カメラ部に強い衝撃を与えない。精密機器のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災、または感電のおそれがあります。
- レーダーセンサーの技適認証について
以下の装置は日本の電波法（電波法）に基づいて認可されています。本製品の改造は禁止されています。（適合証明番号などが無効となります。）



フロントレーダー



サイドレーダー

⚠ 注意

- フロントグリル、フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺に誤った塗装修理を行うと、本来の機能を発揮できなくなる可能性があります。適切な修理を行うため、日産販売会社にご相談ください。

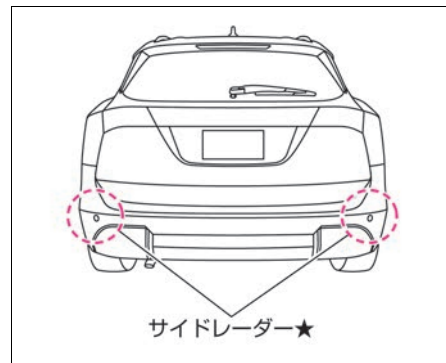
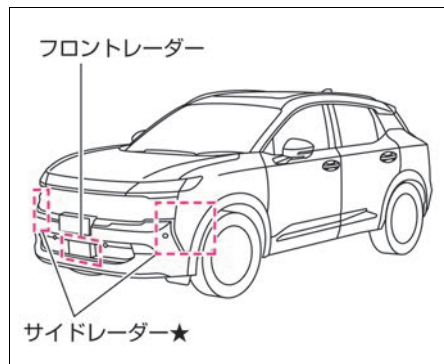
🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、濡れた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- 以下の状態の場合レーダーセンサーの性能が発揮できない可能性があります。取り付けた部品の除去、洗車、修理、もしくはバンパー交換を推奨します。
 - ー レーダーセンサー周辺へのステッカー貼り付け、後付け部品の取り付け
 - ー お客さまの手による補修
 - ー レーダーセンサー周辺の傷つき、鳥糞、虫、泥、雪などの付着
 - ー 衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したとき
- フロントバンパー、リヤバンパーを改造、脱着したり、塗装したりしないでください。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。



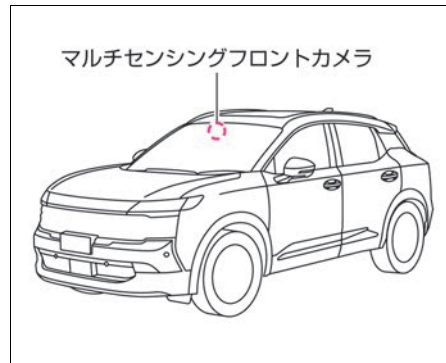
マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- インストルメントパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響が出るおそれがあります。
- カメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

清掃・お手入れ

- フロントガラスが汚れていたり、マルチセンシングフロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方を撮像できないとき、アドバンスドドライブアシストディスプレイにヘッドランプ警告の警告メッセージ（WEB）が表示されることがあります。カメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してください。

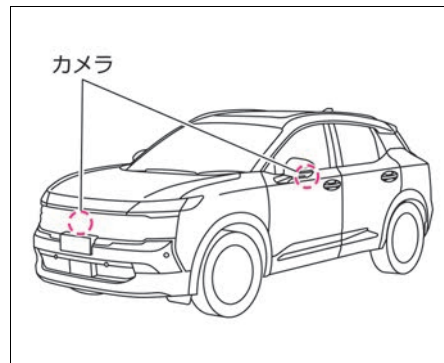


フロントビューカメラ★/サイドビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふいてください。

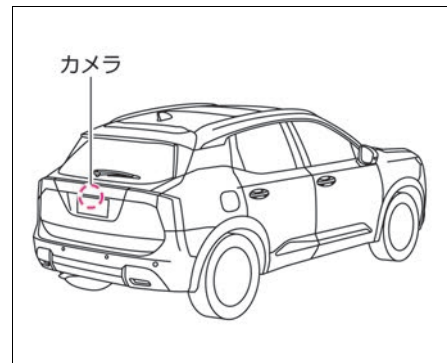
- 衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



リヤビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

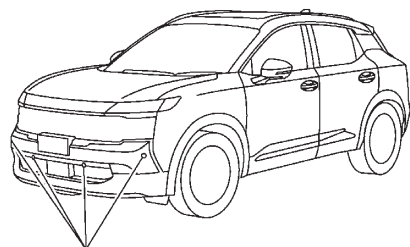
- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 光が反射するため、ナンバープレートにアクセサリを取り付けないでください。
- 衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



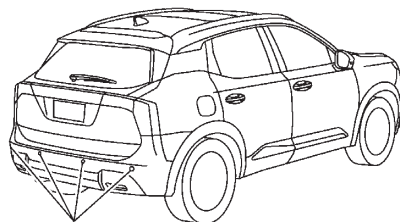
ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因となります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けしないでください。故障、誤作動の原因となります。



ソナー



ソナー

内装のお手入れ

内装のお手入れについて

アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。

ります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。

- オーディオ★やスイッチ類などの電装品、ブレーキペダル周りにシリコン（シリコン）を含むケミカル用品（スプレー、グリース、オイルなど）を使用しないでください。電装品の故障につながるおそれがあります。
- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。
- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれやサビなどの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいてください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルウムクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。



布、合成皮革の汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルウムクリーナーなどで汚れを落としてください。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。

アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色したりする原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

- バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。

インテリジェント ルームミラー★のお手入れ

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっとふいてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部をふかないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布でふいてから乾いた柔らかい布でふいてください。
- カメラ前面のバックドアガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。
- カメラ前面のバックドアガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。

点検値

項目		点検値
ブレーキペダル※	床板とのすき間 エンジン回転中、約490N（50kg）で踏んだとき	115mm以上

※：ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの高さの調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。記載の規定量は目安です。実際の量とは異なることがあります。交換時期については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

エンジンオイル

適用		規定量（ℓ）	指定銘柄
HR14DDe	オイルのみ交換	3.0	日産純正SPストロングセーブ・X 0W-16 （API：SP、SAE：0W-16）
	オイルとオイルフィルター交換	3.2	

■ 指定銘柄以外のエンジンオイルについて

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。

グレード：API規格SPをお使いください。ILSACマークのついたものをおすすめします。



粘度：SAE規格0W-16をご使用ください。

エンジン冷却水

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	6.87※1	日産純正スーパーロングライフクーラント※2、※3

※1：リザーバータンクの容量を含みます。

※2：走行用モーターやインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水には、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

※3：日産純正スーパーロングライフクーラントと日産純正ウインドウォッシャー液の色が似ているため、誤注入しないようにご注意ください。冷却回路にウォッシャー液が混入すると、内部が腐食したり、冷却水が変色したりするおそれがあります。

インバーター冷却水

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
2WD車	3.59※1	日産純正スーパーロングライフクーラント※2、※3
e-4ORCE（4WD）車	5※1	

※1：リザーバータンクの容量を含みます

※2：走行用モーターやインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水には、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

※3：日産純正スーパーロングライフクーラントと日産純正ウインドウォッシャー液の色が似ているため、誤注入しないようにご注意ください。冷却回路にウォッシャー液が混入すると、内部が腐食したり、冷却水が変色したりするおそれがあります。

ギヤボックスオイル

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	1.15	日産純正マチックフルードS※

※：必ず日産純正マチックフルードSを使用してください。日産純正マチックフルードS以外のフルードを使用するとギヤボックスが損傷するおそれがあります。

リヤファイナルドライブオイル

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
e-4ORCE（4WD）車	0.61	日産純正マチックフルードS*

※：必ず日産純正マチックフルードSを使用してください。日産純正マチックフルードS以外のフルードを使用するとリヤファイナルドライブが損傷するおそれがあります。

ブレーキフルード

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	-	日産純正ブレーキフルードNo.2500（DOT3）

ウォッシャー液

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	4.2	日産純正ウインドウォッシャー液*

※：外気温に応じて濃度を調節してください。

車両仕様

— 方向指示器 兼 非常点滅表示灯

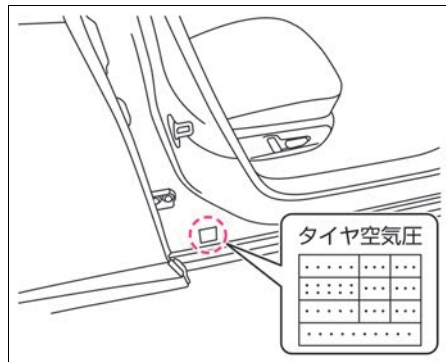
外装ランプ

- 次の外装ランプはすべてLEDです。
 - 前照灯（ヘッドランプ）
 - 前部霧灯（フォグランプ）★
 - 後部霧灯（リヤフォグランプ）★
 - 車幅灯／デイトタイムランニングランプ
 - 番号灯
 - 尾灯
 - 制動灯
 - ハイマウントストップランプ
 - 後退灯

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
215/60R17 96H	17 × 7J	114.3mm (5穴)	35mm
225/45R19 92W	19 × 7.5J		

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあるため、確認してください。



イベントデータレコーダ (EDR)

車両データの記録・蓄積について

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報は記録しません。

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に次の車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報
- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

■ プロパイロットシステム

プロパイロットシステムは次の車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカーなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- プロパイロットの作動に関する情報
- プロパイロットの故障診断情報
- マルチセンシングフロントカメラの画像情報（SRSエアバッグ、インテリジェントエマージェンシーブレーキ作動時）

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合

サービスデータ

- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態記録機能

車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、次の車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報

車両状態記録機能

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

車両状態記録機能は品質維持を目的として、車両の運行状態を記録・蓄積します。

車両状態記録機能から得られたデータを元の確かなサービスを提供することができます。

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合

MEMO